

# このとり通信

No.86

発行日：2016年4月1日

編集：広報委員会

<http://www.hacsw.or.jp/>

## 行事報告

01

### 基礎研修を終えて

報告者 2期生 井上 真規子

2016年2月20日、基礎研修2期生として44名と共に3年間の研修を修了しました。3年に渡る研修を終え、あらためて生涯研修制度が研修生の能力開発やキャリアアップ支援のための素晴らしいものであったと実感しています。研修で得たもの…それは課題からの実益だけでなく、目に見えないモノを察知する感性を常に磨き続けることの大切さです。

国家資格を得ても「社会福祉士」にふさわしい専門的な力量が備わっているわけではないことも確信しました。

学ぶ中で、社会福祉士の関わる分野の多さと深さと広がりを知り、援助者として対象者の方への一言目に「否定語から入らない」を認識し、社会全体を俯瞰し冷静な判断を心がける等々、たくさんのことを体感しました。

また、同期生の個々人の職場での取り組みや経験を知ることにもなり、これからの自分自身の活動や仕事の中で様々な専門職や各機関との連携がいかに重要か！をも身をもって体験させていただきました。

私は年齢的には前倒して自己研鑽をしてい

かなければなりません。出来る限り、県社会福祉士会の活動等に参加し、若い方々を後押ししたり協力しながら「謙虚に丁寧に、そして誠実に」関わっていきたく願っています。2期生は「カムカムの会」と名づけた同期会も結成して、これからも穏やかに繋がり、支え合い励ましあっていくことになりました。

最後になりましたが、事務局並びに関係者の皆様、お世話になり心より感謝しております。本当にありがとうございました。



基礎研修無事修了しました

## 目次

- 行事報告……………1～6
- 5ヶ年発展計画の策定について……………7
- 委員会だより……………8
- メーリングリスト……………9～10
- ブロックインフォメーション 10～11
- 委員会責任者名……………12
- 事務局情報……………12～15

## 高齢者虐待対応現任者標準研修

報告 高齢者虐待対応委員会

今年度の高齢者虐待対応現任者標準研修は11月13日、14日、12月12日、兵庫県福祉センターで行われ、21名が修了しました。虐待対応経験年数に差はあるものの、帳票を利用した各段階での対応を講義だけでなく、グルー

プで演習を行うことによって理解を深めてもらいました。アンケート結果を見ても、おおむね好評でした。現場での対応力をさらに強化していただきたいと願います。



帳票の説明



グループワーク

## 会員交流事業 忘年会

報告 広報委員会

12月19日、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲが行われたこの日、兵庫県社会福祉士会の忘年会が開催され、60人が参加しました。昨年からはまった忘年会の余興は、委員会やブロックなどの団体出演の他、個人出演も含め7グループが、楽器の演奏など様々な演目を披露しました。忘年会参加者より投票で選ばれた上位3組には、岡本会長より表彰状と景品が贈呈されま

した。その後、「兵庫県社会福祉士会の歌」を参加者全員で合唱し、記念撮影も行いました。普段、なかなか会うことのない会員相互の交流の場ともなり、楽しく盛り上がった忘年会になりました。来年の忘年会で優勝を目指される方は、今のうちから練習を重ね、ぜひエントリーしてくださいね。



素晴らしいパフォーマンス



集合写真

## 社会福祉士実習教育支援者研修

報告 実習教育支援委員会

2月13日午後、兵庫県民会館にて「実習教育支援者研修」を開催しました。

実習教育支援委員会では、永らく「実習指導者フォローアップ研修」を開催してきましたが、今回は対象者を実習指導者に限定せず、広く養成校で実習教育に関わっている方にも参加を呼びかけました。結果として8名の養成校関係者を含め41人で意見交換することができ、立場を超えて交流することができました。

実習教育支援委員会は、近畿ブロック各県士会（大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山）の実習委員会メンバーと連携しています。今回は、大阪から4名、京都から5名の方が来られました。



講義風景

「講義 実習評価の実際（養成校から）60分」、「講義&演習 実習評価の実際（実習受入施設から）60分」、「演習 実習コメントの考え方60分」と内容が盛りだくさんで、時間不足でしたので、次回以降の研修内容でまた工夫してみようという話になりました。

懇親会（11名参加）でも、後進の育成に直結する実習教育について熱心な議論が続き、「実習生が社会福祉士になって社会福祉士会に入会してくれることになった。」「実習生が就職につながって、法人の他部署の職員も社会福祉士実習にとっても協力的になってきた。」など、うれしい話題提供もありました。

次回の実習教育支援者研修は6月11日（土）の予定です。ご期待ください。



演習風景

## 生活困窮者自立支援の現場発 課題と展望を考える

報告 生活困窮者支援委員会

2月14日に開催した標記の研修には、定員を超える67名ものみなさまに参加いただきました。今回の研修は、生活困窮者自立支援法が施行されて1年を迎えますが、この間現場で何が起き、何が課題になっているのかを明らかにしようということで開催したもので、兵庫県社会福祉協議会、兵庫県弁護士会のご後援を得ました。

内容は3部構成で、第1部は「生活困窮者自立支援法のしくみと東淀川区の実践～施行後1年を振り返る～」と題して、東淀川区保健福

祉課 生活支援担当課長代理の谷口 伊三美さんから制度概要や現状、生活保護制度との関係など、お話をいただきました。第2部は、「生活困窮者支援のための法制度活用～相談実務に使える知識～」と題して、大阪弁護士会所属のあかり法律事務所 弁護士 小久保 哲郎さんから、具体的な法律活用についてお話いただきました。第3部は、「生活困窮者支援をさらに進めるために」と題して、本会生活困窮者支援委員会の福村副委員長から具体的な相談事例の報告と先のお二人の講師の方を交え

てのお話でした。あっという間の3時間余りの時間でしたが、会場の熱気や講師の皆さまからの熱のこもったお話に時間がたつのも忘れ



講義風景

て、引き込まれてしまいました。

本事業がはじまって約1年、「生活困窮者」とはだれを指すのか、何が「自立支援」の目標なのかを自問自答しながらの現場であることが見えてきました。

最後に開催日の2月14日は奇しくも「愛の日」その真逆をテーマにしたかのような研修会でしたが、「愛の反対は憎しみではなく無関心です。(マザー・テレサ)」という言葉にもあるように、この問題は実は私たちの身近なところにあります。今後も、より多くの方が、「生活困窮者」や「社会的孤立」に関心を持ってくださるよう、研修会や委員会の活動を継続していきたいと思ひます。

## 行事報告

06

## 奈良少年刑務所を見学して

報告 更生支援委員会

2月17日に奈良少年刑務所見学に行ってきました。周り一般的な住宅街だったにもかかわらず、そこはレトロな重要文化財を思わせる風貌で、タイムスリップをしたような感覚になりました。

明治4年に奈良監獄として奈良駅近くに存在していたそうですが、明治41年に現在地に改築移転したとのこと。その容姿は、ほぼ当時そのままであり、当時使われていた牢屋もその時の状態のまま保存してあり、当時の受刑者の囚われていた様子が目に浮かぶようで、犯罪を犯した人間の処遇を想像しただけで、居たたまれない思いになります。

現在の刑務所は、独居棟の先に作業所があり、それぞれに作業所で職業訓練を受けることができ、高等学校通信制課程の受講もできたりと、受刑者が、社会復帰するために必要な課程を習得することができます。刑の期間によっては、2年課程で理髪師資格を取得することもできるとのことです。

収容されている受刑者の3割は性犯罪者であるとのこと、性犯罪再犯防止指導は他の刑務所に比べ、レベルの高いものであるとのこと。

一人ひとりのプライバシーも尊重されながらも、冷暖房のない閑散とした独房で、過ご

していることを思うと、罪を犯し、更生するということの、重さを改めて感じます。

釈放前指導寮というところでは、釈放2週間前から施設外の奉仕活動がおこなわれたり、外部の人と関わりを持っていくことがおこなわれ、社会に少しずつ慣れていくそうです。独房にいた期間が長いと、いきなり社会生活に戻ることはなかなか大変であるようです。

それぞれの受刑者が社会復帰するために、毎日過ごしている様子を目の当たりにして、社会復帰をする、更生することの受刑者への支援について、改めて考える機会をいただきました。



奈良少年刑務所

## 2015年度認証研修「福祉人材育成研修」報告

報告 生涯研修センター

2月23日、本会初めての認証研修の1日目が23人のご参加で無事終了しました。事業種別も年齢・経歴もみなさん様々ですが、福祉現場でのより良い人材育成に悩み苦しんでいるのは全員一緒でした。

今回の研修は一般論に留まることなく、現場に持ち帰ってすぐ使える手法や書式を意識して準備しました。

法人規模も事業所の風土もそれぞれですが、職場でマイノリティの社会福祉士が、社会福祉士らしく仕事ができ、「やっぱり社会福祉士は勉強してるね。」とか、「さすが社会福祉士は多方面に配慮できていて、調整がうまいね。」って言ってもらいたいですよね。

先輩社会福祉士の私たちが後輩社会福祉士に業務を通して何を見せるか、研修やOJTと

いう手法の中に伝えたい何かをどうプログラムするか、について皆さんで考えました。2日目は3月25日（金）。2016年度の福祉人材育成研修は2017年2月～3月開催の予定です。



グループワークの様子

## 東播地区ブロック自主企画研修

### 「みんなで地域包括ケアをじっくり考えてみよう 2 ～他職種で困難事例を考える～」開催のご報告

報告 東播地区ブロック理事会

2月21日、明石市産業交流センター4階研修室1におきまして、当地区ブロック会主催自主企画研修「みんなで地域包括ケアをじっくり考えてみよう 2 ～他職種で困難事例を考える～」を開催致しました。

昨年度と同じ「地域包括ケア」をテーマながら、今年度は参加者23名を分野や職種が混在するメンバー編成に振り分け、基調講演の後に仮定の困難事例を検討しました。専門職毎の視点の違いやネットワークの重要性を再認識しつつ、中には鋭い意見も飛び出すなど

の熱い意見交換が繰り広げられました。

以下はアンケートに寄せられた受講者の感想です。

- 地域包括ケアシステムに興味があり、参加させていただきました。普段、意見交換する機会が少ない職種の方ともお話することができ、新たな学習ができました。グループワークでは、現場でも共有する悩みについても話すことができ、勉強になりました。
- グループ内の話し合いで、ソーシャルワー

クの本質を考える機会になった。

- 「他職種連携の欠点」についてなど、現在の福祉の概念は必ずしも正しいわけではないと知ることができたのはありがたかった。熱い意見交換でモチベーションが上がりました。
- 事例検討会は現場での声が直接聞けたので、とても良かったです。新しく知るこ



基調講演

とや、自分の業務のみなおしになりました。ありがとうございました。



事例検討

## 行事 報告

09

# 平成 27 年度 独立型社会福祉士実践報告会 in 姫路 「独立型社会福祉士とネットワーク～成年後見事例を通じて～」

## 報告 独立型社会福祉士支援委員会

2月28日、姫路市労働会館第3会議室におきまして、当委員会主催「平成27年度 独立型社会福祉士実践報告会 in 姫路」を開催致しました。今年度は「独立型社会福祉士とネットワーク～成年後見事例を通じて～」と題して、特別講師に姫路西公証役場公証人・平田建喜さまを迎えてご講演いただきました。2名の本会会員の成年後見業務を切り口とした実践報告もさることながら、一般人との接触を控えていた検事時代とは正反対に積極的アプローチで道を切り開いた平田公証人の生き様に感銘を受けた方も多かったのではないのでしょうか。

また、後半の交流会では講師・発表者を含めた17名が3つのグループに分かれ、「ネッ

トワーク」をキーワードに様々な意見交換を展開しました。緊張の面持ちがぱっと笑顔になる瞬間や歓声があちこちで挙がり、実りの多い時間を共有いただけていたようです。



活発な意見交換

## 未来に向かって～兵庫県社会福祉士会の夢を描こう～ (兵庫県社会福祉士会 2020・5ヵ年発展計画を策定しました)

兵庫県社会福祉士会 会長 岡本 和久

陽春の候、会員のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。今年も美しい桜が咲き、新しい春を迎えました。今春、社会福祉士に合格された皆さま、本当におめでとうございます。本会に入会いただいたみなさまをこころより歓迎いたします。

本会は、1993年7月に日本社会福祉士会の兵庫県支部として発足し、当初100名にも満たない小さな職能団体として活動を始めました。2009年4月に一般社団法人兵庫県社会福祉士会として法人格を取得し、2016年度は発足から23年目を迎えます。

今日では16の専門委員会と7つの地区ブロック、福祉相談センター「ここねっと兵庫」を組織化するとともに、高齢者虐待対応研修や「JR西日本相談センター事業」へ相談員を派遣、今年度は新たに「障害者差別解消相談センター」への相談員の派遣など、行政等から公的な事業を受託し、公益性の高い運営を展開しています。

また、「まちかど相談会」や各種研修、社会福祉セミナー等を通じて地区ブロック活動を展開し、県民の福祉向上に寄与し、県民や行政等から本会への期待は年々高まっています。しかし、一方で、社会福祉士資格取得者の組織率は年々低下し、現在では16%台へと低迷しています。

このような状況の中、さらに本会の発展を中・長期的観点から取り組む必要があることから昨年度「兵庫県社会福祉士会・5ヵ年発展計画策定会議」を設置し、会員アンケートや地区ワークショップ、パブリックコメン

ト等を実施し、1年間かけて「兵庫県社会福祉士会2020・5ヵ年発展計画」の策定に取り組んできました。

この度、会員のみなさまの貴重なご意見等を踏まえ、計画策定ができましたので、会員のみなさまに、ぜひご覧いただきたいと思えます。(詳細は別冊をご参照ください)

目標「利用者の自己実現と地域の社会福祉を推進する専門職団体（社会福祉士会）」

3つの柱（重点目標）

1. 社会福祉士としての資質向上を支援する
2. 地域貢献（公益性の増進）に寄与する
3. 会員数を拡大する（2000名）

もちろん、計画の策定はゴールではなく、これから5年後の本会の姿を目指して、様々な事業や会員サービスの向上等に取り組むための新たなるスタートです。

このため、今年度は新たに「組織力向上戦略会議（仮称）」を設置し、本計画の具体的な企画検討と推進を行ってまいります。会員のみなさまにも会議への公募やアンケート等を行いますので、引き続き、ご協力のほどお願いいたします。

本計画をもとに、本会の5年後のさらなる発展に向けて、みなさまと一緒に活動していただけることをこころより願っております。

# 委員会 ① だより

## 相談委員会

委員長 西垣和仁

毎年、秋になると毎年まちかど無料相談の季節がやってきます。

相談者の多いブロックや高齢者が多いブロックなど来られる方も様々です。もちろん相談内容も様々であります。「これ、福祉相談じゃないよね?」ってものから高齢分野・障がい分野・児童分野・成年後見等など福祉相談援助職の専門分野のものまで多岐にわたります(実は私は児童分野がどうも・・・)。

また、地域特性のある相談に関しては、各ブロックの方々に助けていただきながら、社会福祉士の啓発活動とまちかど無料相談を行っていくわけです。複数の社会福祉士が集まれば、得意分野を持ち寄り、互いに補うことができることが、社会福祉士のいいところかなと考えております。

たとえば・・・【姫路まちかど相談】・・・

2015年11月3日、姫路城大手前公園にてまちかど相談会(西はりまブロック)をおこないました。当日は、福祉関係の学校や作業所等が模擬店を出す「ひめじ福祉まつり」の開催に便乗しています。大勢の人々と賑わうなか、メモ帳を配りながら社会福祉士会の存在や活動をアピール

してきました。また相談があると寄ってくださった方もあり、丁寧に助言させていただきました。

毎年この場所で活動させていただいておりますが、メモ帳を手にとってくださいました方々や会場でお会いした方々のお力になりたいと思います。

・・・【神戸まちかど相談】から・・・

2015年11月7日は神戸ブロックのまちかど相談でした。神戸はいつも人通りの多い場所で行うため通りすがりに、「ちょっと聞いてみよう・・・」という相談が多いのですが(少し先の将来に不安を感じながら何とか日常を暮らしている人たちが)増えてきているのでは?と感じます。また、毎年同じ場所で開催していると、「今年も来たよ～」と相談の経過報告に来てくださる方もいて、本当にまちかどの声が聞ける相談会だと思います。

\*\*\*\*\*

相談委員会はまちかど無料相談以外にも、毎月1回第2土曜日13:00～16:00まで福祉なんでも相談を行っていますので、気軽に見学にきてください。



姫路会場



阪神会場



淡路会場

# 委員会 ② だより

## 独立型社会福祉士支援委員会

委員長 石原知佳子

独立型社会福祉士支援委員会メールマガジン  
会員登録 ご登録のご案内

当委員会では情報提供ツールとして「独立型社会福祉士支援委員会メールマガジン会員登録」を常時受け付けております。ご登録希望をいただくとメーリングリストへご希望のメールアドレスをご登録し、

- メールマガジン「夢ふうせん」の季刊配信
- 独立型社会福祉士に関する研修・地域・活動情報などの配信などの享受にご利用いただけます。

ご登録ご希望の方はメールにて以下についてご記入の上送信してください。

- ① 件名に「独立型メルマガ会員登録希望」とお入れください。
- ② 本文にお名前、会員番号、独立型社会福祉士養成研修の受講歴の他、「開業済み」「近日開業予定」「検討中」のいずれかをご記入下さい。
- ③ 開業済みの方は開業年月日、屋号をご記入下さい(差支えない範囲で構いません)。
- ④ 申込先 [hsasao.fukushi@gmail.com](mailto:hsasao.fukushi@gmail.com)  
(担当・笹尾)

多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。



## メーリングリストとは



### はじめに/メーリングリストの活用について

現在兵庫県社会福祉士会では、ひよこメーリングリストの運営をしています。登録すると便利なので、ご紹介させていただきます。

### 何ができるの？

登録者に対して一斉に同じ内容の文章を送信することができ、情報の共有が即座に行えます。また登録者は全員が発信者にもなることができ、発信者のトピックスについて登録者全員で双方向的なやりとりが可能になります。

事務局からは、日本社会福祉士会や関係団体、兵庫県下の事業所のイベント情報などをタイムリーに発信しています。

登録していない方やメールアドレスをお持ちでない方にはその情報は届きません。

### 注意点

メーリングリストのアドレスにメールを送ると、その内容はみなさんに読まれることとなります。1度メールを送ると削除出来ません。従って秘密の根回しや、デートのお誘いなどは内容として不適切ですので、みなさん注意してください。

今後もみなさんにとって有益なメーリングリストとなるよう努力を重ねていきますので、みなさん登録の申し込みをしていただきますようお願いいたします。

## 兵庫県社会福祉士会メーリングリスト登録のご案内

本会ではメーリングリスト（通称：ひよこML）を運営しています。配信内容は本会行事や各委員会・ブロックからの事業案内の他、各地域で開催のイベントや研修、行政、事業所からの求人情報、個々の会員からの耳より情報などです。「このとり通信」では発信できないタイムリーな情報を皆様にお届けします。



### 〈登録方法〉

- ①兵庫県社会福祉士会のホームページ (<http://www.hacsw.or.jp>) にアクセスする。
- ②ページ右上の「兵庫県社会福祉士会メーリングリスト(ひよこメーリングリスト)への登録申し込みはこちらから」というリンクにアクセスする。
- ③必要事項を入力し、送信する。

以上の手順を踏んでいただき、当委員会でご確認ください。会員登録する都合上、即日登録できないことをご了承ください。

## メーリングリストへの登録アドレスを変更する場合についてのお願い

ひよこ ML への登録アドレスを変更する場合についてのお願いです。

最近、ひよこ ML への登録アドレス数の増加に伴い、メールが届かないこと（エラー）が多く発生してきています。担当として、エラー対応に手間と時間がかかる状態となっています。

対応として、登録アドレスへの変更の連絡がない場合においても、メーリングリストの登録から削除することとします。

ひよこ ML のメールが滞りなく届くよう、登録アドレスを変更したときは、必ず、アドレス変更の連絡・手続きをお願いします。また、携帯アドレス等において迷惑メール対応が設定されている可能性がありますのでご確認ください。

上記の説明で分からない点等ありましたら、syadanhyogo@hacsw.or.jp こちらに連絡ください。宜しく申し上げます。

《兵庫県社会福祉士会メーリングリスト》

運営母体：兵庫県社会福祉士会 管理者：広報委員会 お問い合わせ・連絡先：syadanhyogo@hacsw.or.jp

# ブ

## ブロックインフォメーション ①

### 神戸ブロック（ブロック長 増山 陽子）

花はほころび、木々は芽吹き、人々は心はなやぐ季節ですね。その暖かな空気を満喫しつつ、その片隅でその空気さえも十分に感じる事ができない人たちへの思いを、忘れないようにしたいと思います。

さて、年度が変わり、事業計画を立てているところですが、県の行事を含めさしあたりの予定をお知らせします。県全体でも研修会が目白押しですが、どうぞ次の総会には万障お繰り合わせのうえご出席ください。今年も総会後に交流会（歓迎会）を予定しています。入会間もない方も一緒に楽しいひとときをすごしましょう。

#### 《今後の予定》

6月4日（土） ・ブロック総会&記念講演&交流会&新入会員歓迎会

\*日程は未定ですが、今年度は施設見学会を予定しています。

また、新入会員向けの研修会の開催も考えています。

まだ、検討中ですのでご意見やご希望をお寄せください。

\*どうぞ積極的に参加していただき、新しい力でブロック活動をもりあげていただきたいと思います。ボランティアで地味な活動かもしれませんが、そこから得るものはきっとあるはずです。連絡をお待ちしています。

\*神戸ブロックのメーリングリストにぜひ登録してください  
タイムリーな情報もお届けします。

アドレス：CSW\_KOBE@EXCITE.CO.JP

問い合わせ先： 090-8531-5414 （増山）

## 東播地区ブロック(ブロック長 石原知佳子)

### 第8回 東播地区ブロック総会 開催のご案内

日時：平成28年5月29日(日)午後

会場：明石市生涯研修センター学習室2

(アスパア明石北館8階)

今年度は役員改選がございます。記念講演など開催内容の詳細は、当ブロック所属会員様には後日配布致します「総会議案集」で、その他のみなさまにはhiyokoML、東播地区ブロック・ブログなどでご案内致します。役員一同、所属会員のみなさまのたくさんのご参加を心よりお待ちしております。

## 広告

福祉と行政のプロフェッショナル

# うすき 行政書士 事務所

(うすき社会福祉士事務所 併設)

### 4つの約束

- 1 法律と福祉の両方が分かる専門職として身近な悩みにもお応えし、お客様をサポートします。
- 2 類雑な書類作成、申請業務を全て承ります。お客様は、本来業務や新しい業務の準備に集中できます。
- 3 電話やメール相談だけでなく、お客様のご連絡があればすぐに駆けつけます。
- 4 お客様との信頼関係を大事にします。

ご相談はこちらまで。  
どこでも私が駆けつけます！



いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 事業所の新規指定申請、更新申請の予定がある。 | <input type="checkbox"/> 新しく会社やNPOを興したいと考えている。 |
| <input type="checkbox"/> 認定NPO等の準備を考えている。       | <input type="checkbox"/> 介護タクシーなど新規事業を始めたい。    |
| <input type="checkbox"/> 遺言書や相続に関する問い合わせを受けた。   | <input type="checkbox"/> 成年後見を活用したほうがいい方がいる。   |
| <input type="checkbox"/> クーリングオフなど消費者問題の人がいる。   | <input type="checkbox"/> 訪問介護事業所等の駐車許可を取得したい。  |

#### 《業務内容のご紹介》

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| ・株式会社、NPO法人など設立手続き    | ・介護サービス事業所の手続き支援        |
| ・障害福祉サービス事業の手続き       | ・社団法人、公益社団法人等の新規・移行手続き  |
| ・介護タクシーの許可取得          | ・遺言書、遺産分割協議書作成          |
| ・相続対応や成年後見制度の活用など     | ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成     |
| ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係 | ・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など |
- (司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

TEL: 0798-34-3999

MP: 090-9264-7594

E-mail: sp8c6h89@aurora.ocn.ne.jp

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口・松村事務所 併設)  
兵庫県西宮市本町7番15号  
(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)  
兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)

## ■ 委員会責任者名

Committee person in charge

研修委員会	近藤 健太	地域包括支援センター支援委員会	山内 賢治
調査研究委員会	井土 睦雄	こども家庭支援委員会	田邊 哲雄
国家試験対策委員会	薄木 公平	実習教育支援委員会	乾 なち子
広報委員会	胡中 智礼	独立型社会福祉士支援委員会	石原知佳子
相談委員会	西垣 和仁	障がい福祉委員会	尾崎 剛志
ソーシャルワーク研究委員会	酒井 淳子	更生支援委員会	原田 和明
高齢者虐待対応委員会	伊東 圭一	地域移行支援委員会	國本 康夫
ばあとなあ兵庫	伊藤 彰	生活困窮者支援委員会	谷口 智昭

会員のみなさまが、委員会活動についてご質問、問い合わせなどされる場合は、  
下記アドレス宛にお問い合わせください。

syadanhyogo@hacsw.or.jp

# 事務局情報

## 【報告】

### ☆ 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 第13回総会について

3月19日に第13回総会を開催しました。  
出席会員58名、委任状847名、書面評決26名の合計931名（定足数734名）で総会が成立しました。予定しておりました、下記の議

案についてすべて承認されたことをご報告いたします。

第1号議案 2016年度事業計画（案）

第2号議案 2016年度予算（案）

## 【報告事項】

(1)個人情報保護方針（プライバシーポリ

シー)と個人情報管理規程について

(2)個人番号及び特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針と個人番号及び特定個人情報取扱規程について

(3)2016年度役員改選について

(4)2015年度補正予算について

## 【お知らせ】

### ☆ 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 第14回総会(決算総会)について

第14回総会を下記の通り開催いたします。

詳細につきましては、後日ご案内いたします。

日にち：6月25日(土)

会 場：兵庫県福祉センター

神戸市中央区坂口通2-1-1

議 題：2015年度事業報告・決算

6月初旬発送予定の「第14回総会議案集」とともに、総会出欠確認はがきを同封しますので、お手元に届きましたら、投函をお願いいたします。

○ 総会を欠席する場合は、返信用はがきを委任状としてご返送ください。署名と捺印がないと無効となりますので、忘れないようお願いいたします。

○ 書面にて議決権を行使する場合は、議案集にあります議決権行使書に記入の上、事務局までお送りください。(FAXまたは郵送)

## ☆ 会 員 数

正会員 1,466名(2016年1月末現在)

周りの未入会の方に入会をお誘いください。

職場を異動、または転居された場合は、住所変更届を必ず日本社会福祉士会へ提出して下さい。住所変更届等様式は、日本社会福祉士会のホームページでダウンロードできます。

※このとり通信は、メール便にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、ご注意ください。

## ☆ 2016年度 年会費引き落としについて

2016年4月12日(火)に年会費の引き落としを予定しております。引落金額は16,000円+手数料。

指定口座が残高不足等で引き落としができない場合、翌月12日の引き落としになりますので、残高の確認をお願いいたします。

不明な点等ありましたら、事務局までお問い合わせください。

## ☆ 会員証の更新について

2016年3月31日が有効期間の会員証をお持ちの方には、日本社会福祉士会より更新した会員証をお送りしています(発送予定：3月下旬)有効期限は5年です。

## ☆ 理事会報告

### 2015 年度 第 8 回理事会

日 時：2015 年 12 月 19 日

場 所：兵庫県福祉センター 202

協議事項及び報告事項

- 2016 年度役員選挙の実施方法について
  - ・ 選挙スケジュールと方法等について
- 2016 年度事業計画・予算について
- マイナンバー制度と本会の対応について
  - ・ 個人情報と特定個人情報の管理規程を分離
- 日本社会福祉士会からの連絡報告に関すること
  - ・ 滞日外国人ソーシャルワーク研修について
  - ・ 認証研修開催について
- 近畿ブロックの動向について
  - ・ 代表者会議 災害担当者会議の幹事県を受託
  - ・ 近畿ブロック研究・研修会和歌山大会について
- 本会組織課題の進捗状況について
  - ・ 兵庫社会福祉セミナー（但馬ブロック）セミナーと実践報告会を分けて開催を検討
  - ・ 社会福祉士会発展 5 ヶ年計画の策定について
- 第 13 回予算総会について
  - ・ 記念講演ではなく、イベントとして実施ウォーキングを通して健康づくりの講話と実技
- その他
  - ・ 優秀学生の表彰について
  - ・ こどもの権利擁護に関する研究プロジェクトチーム（こども PT）について
  - ・ 虐待対応プロジェクトチームについて

### 2015 年度 第 9 回理事会

日 時：2016 年 1 月 16 日

場 所：兵庫県福祉センター 202

協議事項及び報告事項

- 2016 年度事業計画・予算について
  - ・ 収入及び支出の整理
  - ・ 委員会提案の新規事業計画について
- マイナンバー制度と本会の対応について
  - ・ 特定個人情報等の開示について
  - ・ 個人情報管理規程について
- 日本社会福祉士会からの連絡報告に関すること
  - ・ 基礎研修講師養成講座への推薦について
  - ・ 高齢者虐待対応現任者標準研修講師予定者研修会
  - ・ 災害支援活動者養成研修
- 近畿ブロックの動向について
  - ・ 近畿ブロック研究・研修会和歌山大会について
- 本会組織課題の進捗状況について
  - ・ スーパーバイザー養成について
  - ・ 障害者虐待対応力向上研修（県受託事業）について
  - ・ ソーシャルワーカーデー 5 団体代表者会議
  - ・ 兵庫社会福祉セミナーについて
- 第 13 回予算総会について

### 2015 年度 第 10 回理事会

日 時：2016 年 2 月 20 日（土）

場 所：兵庫県福祉センター 202

## 協議事項及び報告事項

- 2015年度補正予算について
- 役員改選について
  - ・選挙管理委員の紹介及び応募状況の報告
  - ・再公募について
  - ・選挙活動について
- 2016年度委員長の変更について
- 日本社会福祉士会からの連絡報告に関すること
  - ・滞日外国人ソーシャルワーク研修について
  - ・成年後見人等養成研修(認証研修)について
- その他
  - ・個人情報管理規程について

## ☆ 事務局に届いた刊行物のご紹介

事務局に届いた刊行物を閲覧できるようにしましたのでご活用ください。

- \* (公社) 大阪社会福祉士会  
なにわだより No.211 ~ 212
- \* (公社) 東京社会福祉士会  
東京社会福祉士会ニュース vol.227 ~ 228
- \* (公社) 北海道社会福祉士会  
かわら版 11月号
- \* (一社) 岡山県社会福祉士会  
岡山県社会福祉士会だより 12月号~2月号
- \* (一社) 静岡県社会福祉士会  
静岡県社会福祉士会 No.256 ~ 258
- \* (一社) 熊本県社会福祉士会  
熊本県社会福祉士会ニュース 55号
- \* (公社) 神奈川県社会福祉士会

かながわの風 vol.10

- \* (公社) 埼玉県社会福祉士会 会報第19号
- \* (一社) 栃木県社会福祉士会 会報第45号
- \* (社福) きょうされん  
月刊きょうされんTOMO 12月号、2月号
- \* (社福) 兵庫県社会福祉協議会  
ひょうごの福祉 12月号~2月号
- \* (特活) 中央むつみ会 会報誌 平成28年新春号
- \* 法テラス広報誌「季刊ほうてらす」Vol.35
- \* 全国被害者支援ネットワーク  
被害者支援ニュース第18号

## ☆ 定期購読書籍

書籍を拡充しました。事務局にて自由にお読みいただくことができます。

- \* 月刊福祉 (全社協)
- \* 月刊ケアマネジャー (中央法規)
- \* 生活と福祉 (全社協)

## ☆ 今後の予定

2016年度 理事会・総会のご案内

### 【日程】

- 第1回 理事会 4月16日(土)
- 第2回 理事会 5月14日(土)
- 第3回 理事会 6月25日(土)
- 第14回 総会 6月25日(土)
- 第4回 理事会 7月23日(土)
- 第5回 理事会 9月25日(日)
- 第6回 理事会 10月22日(土)

- 第7回 理事会 11月19日 (土)
- 第8回 理事会 12月17日 (土)
- 第9回 理事会 1月14日 (土)
- 第10回 理事会 2月18日 (土)
- 第11回 理事会 3月18日 (土)
- 第15回 総会 3月18日 (土)

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。



..... **事務局連絡先** .....

**【事務局】**

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会  
〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5階

TEL : 078-265-1330

FAX : 078-265-1340

**【事務局員】**

事務局長	西野	佳名子
事務局次長	谷口	智昭
事務局員	中村	智穂美
事務局員	北野	和香子
事務局員	胡中	智礼
事務局員	笹岡	久美
事務局員	萩原	美千紘

**【事務局メールアドレス】**

syadanhyogo@hacsw.or.jp

**【ぱあとなあメールアドレス】**

TEL : 078-222-8107

partner-jimu@hacsw.or.jp

**【研修申込専用メールアドレス】**

entry@hacsw.or.jp



# このとり通信

No.86 (別冊)

春号

発行日：2016年4月1日

編集：広報委員会

<http://www.hacsw.or.jp/>

## ◎ 研修・講演会等のご案内 ◎

FAXまたは郵送でお申し込みの場合は、各案内ページの申込紙を切り取るか、コピーしてご利用ください。

メールでお申し込みの場合は、申込書の必要項目をメール本文に入力して送信してください。

	研修名	日時	場所	主管	申込締切
1	西はりま地区ブロック総会	5/1	じばさんびる503会議室	西はりま地区ブロック	4/20
2	2016年度 スーパービジョン		兵庫県福祉センター	生涯研修センター	4/26
3	2016年度 基礎研修Ⅰ		兵庫県福祉センター 101会議室	生涯研修センター	6/30
4	2016年度 基礎研修Ⅱ		兵庫県福祉センター 203会議室	生涯研修センター	4/22
5	2016年度 基礎研修Ⅲ		兵庫県福祉センター 102, 103会議室	生涯研修センター	4/22
6	認証研修 成年後見人養成研修	7/10 ～ 11/13	兵庫県福祉センター 203会議室	生涯研修センター ばあとなあ兵庫	4/22
7	地域包括支援センター 初任者研修	5/16	兵庫県福祉センター 203会議室	地域包括支援センター 支援委員会	
8	阪神ブロック 総会	5/28	尼崎市立すこやかプラザ	阪神ブロック	5/20
9	2016年度マインドフルネス研修 ヨーガ療法体験講座～マインドフルネス体験～	5/29	ヨーガスタジオ・チャンドラ (西宮市)	研修委員会	5/20
10	社会福祉士実習教育支援者研修	6/11	兵庫県福祉センター 203会議室	実習教育支援委員会	6/3
11	施設従事者向け虐待防止研修	6/14	兵庫県福祉センター 203会議室	高齢者虐待対応委員会	6/3
12	認証研修 組織管理者研修	7/7 8/23	兵庫県福祉センター 203会議室	生涯研修センター	6/24
13	2016年度 研修委員会 第2回 施設見学会	9/22 ～ 9/24	べてるの家(北海道)	研修委員会	7/20
14	2016年度災害支援セミナー ソーシャルワーカーが担う災害支援活動の実際	8/20	兵庫県民会館 パルテホール	災害支援 プロジェクトチーム	
15	認証研修 高齢者虐待対応研修	4/24 ～ 8/27	兵庫県福祉センター 203会議室	生涯研修センター	4/15
16	2016年度 社会福祉士実習指導者講習会 -速報-	11/26 11/27	福祉センター	実習教育支援委員会	8/31
17	ばあとなあ兵庫 全体会	5/28	兵庫県福祉センター 1階多目的ホール	ばあとなあ兵庫	

## ◎ その他 ◎

- ソーシャルワーカーデー2016 in ひょうご サポーター募集
- 高齢者虐待対応委員会ニュース Team-G
- 兵庫県社会福祉士会2020・5ヶ年発展計画 パブリックコメントについて
- 組織力向上戦略会議委員の応募登録
- 兵庫県社会福祉士会ホームページのリニューアルのお知らせ

## ◎ 同封書類 ◎

- 会員情報更新届 ※変更がなくとも、情報の更新をお願いします
- 兵庫県社会福祉士会2016年度 年間計画表
- 広報誌Vol.6 ※ブロック・委員会の情報等を掲載しています。追加が必要な場合は、兵庫県社会福祉士会事務局までお問い合わせください
- 市民福祉大学 ヒューマンサービスコース2016 受講者募集

## 【研修委員会からのお願いです】

研修を受けるルールとして、やむを得ず研修等をキャンセルされる場合は、**前日までに事務局または研修委員会まで必ずご連絡ください**。また、当日キャンセルされる場合は、原則として**参加費はいただきます**ので、ご了承ください。特に、**懇親会や飲食を伴うイベントのキャンセル**は、お店への連絡がありますので、**2日前まで**とさせていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

1. お預かりした個人情報は、当会の運営目的外には使用いたしません。
2. 【自然災害による中止】自然災害発生等によりやむを得ず研修会を中止する場合があります。判断基準等は、本会ホームページをご参照ください。中止の場合は、受講料返金はい行いませんのでご了承ください。（本会HP：[www.hacsw.or.jp/](http://www.hacsw.or.jp/)）
3. 受講に際して必要な配慮等がある場合は、備考欄に具体的にお書きください。



### ◆兵庫県福祉センターへのアクセス

- ・JR「灘」駅より徒歩10分
- ・阪急「王子公園」駅より徒歩10分
- ・阪神「岩屋」駅より徒歩15分
- ・神戸市営バス90・92系統「上筒井1丁目」  
停留所下車すぐ

※駐車場の数が限られておりますので、福祉車両利用や荷物の運搬など特別な場合を除き、公共交通機関をご利用ください。



会員各位

一般社団法人兵庫県社会福祉士会  
西はりま地区ブロック  
ブロック長 塩 尻 点

## 2016年度

## 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 西はりま地区ブロック総会のお知らせ

陽春の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当ブロック活動にご協力賜わり、厚く御礼申し上げます。

今年度のブロック総会を下記内容にて開催します。総会議案集、出欠・委任状（はがき）を送付いたしますのでご確認ください。総会成立には委任状を含めブロック会員の半数以上の出席・委任が要件となっておりますのでご協力をお願いします。そのため、返信用はがきを4月20日（水）までに必ずご返送くださいますようよろしくお願いいたします。総会終了後には懇親会を開催します。ご多忙中とは存じますが、ご出席の程よろしくお願いいたします。また、新規会員の皆様もお気軽にどうぞ。

## 記

1. 日時 2016年5月1日（日）14:00～（受付開始13:30～）
2. 場所 姫路・西はりま地場産業センター じばさんびる 503 会議室  
（住所：姫路市南駅前町123番 TEL：079-289-2832）
3. 参加費 無料
4. 懇親会費 4,000円（予定）
5. 日程
 

13:30～	受付
14:00～	開会挨拶
14:05～	記念講演 調整中
15:35～	片付け・休憩
15:45～	総会
	議案 第1号議案 平成27年度事業報告
	第2号議案 平成27年度決算報告
	監事監査報告
	第3号議案 役員改選について
	第4号議案 ブロック代表理事の選出について
	第5号議案 平成28年度事業計画（案）
	第6号議案 平成28年度予算（案）
	事務連絡
16:30～	事務連絡
17:00～	懇親会

## &lt;会場地図&gt;



# 2016年度「スーパービジョン」実施要項

基礎研修は、2012年度より、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系となりました。この研修は社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催しております。

また、社会福祉士の資格取得後、高度な知識と卓越した技術を用いて、個別支援や他職種との連携、地域福祉の増進を行う能力を有する社会福祉士のキャリアアップを支援する仕組みとして、実践力を認定する「認定社会福祉士制度」を制定しています。兵庫県社会福祉士会では、認定社会福祉士を目指される方のためにスーパービジョンを実施します。本会の行うスーパービジョンを1年間に6回受けることでスーパービジョン実績2単位となります。これを5年間行うことで認定社会福祉士申請に必要な10単位となります。

「認定社会福祉士認証・認定機構」に登録されているスーパーバイザーには3種類があります。

- 区分1：社会福祉士有資格者（主に職能団体が推薦する者）
- 区分2：施設や機関等において職員のスーパービジョンを担当している者（主に施設や機関の長が推薦する者）
- 区分3：認定社会福祉士認証・認定機構が推薦する者（主に教育団体が推薦する者）

本会主催のスーパービジョンは、「区分1」のうち、**兵庫県社会福祉士会が連絡先**となっているスーパーバイザーによるもののみです。本会主催のスーパービジョンを希望される方は以下の手続きに従ってお申し込みください。

\* 区分3のスーパーバイザーを希望される方は、認定社会福祉士認証・認定機構のホームページ（[http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/06\\_supervision/05\\_list.html](http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/06_supervision/05_list.html)）から登録者に直接依頼してください。

## 1. 受講条件

スーパービジョンを受けることのできる方は、次の条件をすべて満たしている方です。

- ・申し込み時点で基礎研修Ⅲを修了している方
- ・認定社会福祉士取得を希望する方
- ・事前面談、スーパービジョン6回以上、総括面談を実施期間内に受けることのできる方
- ・本会が指定する日程、場所でスーパービジョンを受けることができる方
- ・「スーパービジョン実施契約書」を取り交わすことができる方
- ・所定の受講料を前納できる方
- ・事前面談の前のオリエンテーションに参加できる方（2015年度スーパービジョン受講済の方は不要）

2. 実施場所 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター内相談室など

3. 主催 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 生涯研修センター

4. 実施期間 2016年の「スーパービジョン契約締結」から1ヵ年  
(総括を実施して終了するまでの期間です)

### 5. 受講オリエンテーション

「受講オリエンテーション参加申込書」をお送りいただき、4月7日(木)19:00~20:30、4月10日(日)か4月16日(土)の11:30~13:00のいずれかの受講オリエンテーションに参加してください。また、上記の日程が難しい場合は個別に対応しますので事務局西野まで連絡ください。

※既に2015年度のスーパービジョンを受けている方は、オリエンテーションの参加は不要です。

6. 受講料 42,000円

事前面談1回、総括面談1回、6回分のスーパーバイザー謝礼・スーパーバイザー交通費および事務費を含みます。スーパーバイザーの交通費は、各自負担してください。受講決定が出てから改めて支払い手続きについてご案内します。

### 7. 申し込み方法

兵庫県社会福祉士会ホームページに掲載している研修情報から申込書をダウンロードしてください。「2016年度スーパービジョン受講申込書(兵庫県版)」と「スーパーバイザーの自己チェックシート【<認定社会福祉士認証・認定機構HP>→<スーパービジョン実績とは>→<スーパービジョンの手順及び使用する様式>→「スーパービジョン実施マニュアル(スーパーバイザー用)」「スーパーバイザーの自己チェックシート」】」を記入のうえ、本会事務局まで郵送か持参してください。

受講申込書のデジタル書式をご希望の方は、Mail: [nakamura@hacsw.or.jp](mailto:nakamura@hacsw.or.jp) (中村)までご連絡ください。

8. 申し込み締め切り 2016年4月26日(火) 消印有効

申込書受理後、本会で内容を確認し日程等を調整のうえ、受講の可否について個別にご連絡いたします。

### 9. 書類の送付先、問い合わせ先

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター 5F

兵庫県社会福祉士会事務局

(担当: 西野・中村)

TEL: 078-265-1330 FAX: 078-265-1340

E-mail: [entry@hacsw.or.jp](mailto:entry@hacsw.or.jp)

# 基礎研修 I のご案内

最終版

## 基礎研修は社会福祉士の必須研修です

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、2012 年度より、基礎研修 I・II・III と 3 段階（3 年間）をかけて修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。新たに入会された方、また、これまでに基礎研修課程を修了されていない方等は、ぜひお申し込みください。  
(なお、2016 年度成年後見人養成研修の受講要件は、「基礎研修 I 修了者」です。)

開催期間：2016 年 4 月 1 日（金）～ 2017 年 1 月 31 日（火）

対象者：社会福祉士（①新規入会者、②既会員で、これまでの基礎研修課程を受講されていない方、③基礎研修課程を受講していても、1 度も生涯研修制度「共通研修課程修了」申請をされていない方）

受講料：社会福祉士会会員 8,000 円 非会員 16,000 円  
(別途テキスト代：5,000 円（予定）)

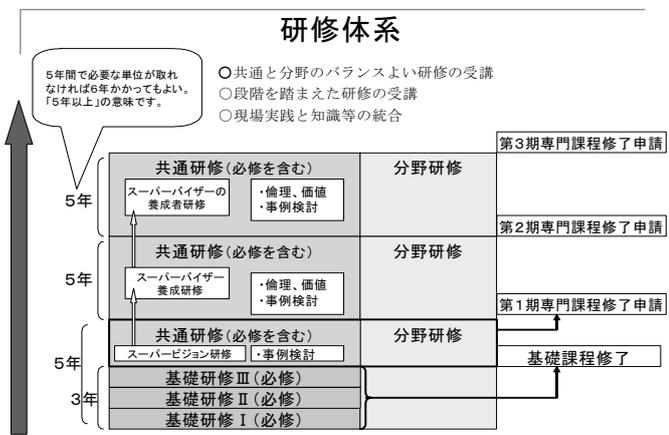
会場：兵庫県福祉センター

主催：兵庫県社会福祉士会・生涯研修センター

### ○基礎研修 I の流れ

受講申込→受講決定→①事前課題→②集合研修 1  
→③中間課題→④集合研修 2

基礎研修 I は申込から終了までに 4 ステップあり、それぞれの課題及び研修を終えなければ、次へ進むことはできません。



### ○スケジュール（日程は変更になる場合があります）

2016 年 3 月～6 月	受講申し込み 定員 80 名
2016 年 6 月～8 月	受講決定・事前課題の提出（レポート 2000 字）
2016 年 9 月	集合研修 1（9/10）または（9/24）各 40 名 ※どちらかの日程を選択
2016 年 10 月～11 月	中間課題の講義・提出（10/2, 10/8 に講義を開催）80 名
2016 年 12 月～2017 年 1 月	集合研修 2（12/17）または（1/7）各 40 名 ※どちらかの日程を選択

### ○研修内容

- ① 事前課題：2000 字のレポート（締め切り 8 月末予定）
- ② 中間課題：1200 字程度のレポート課題 5 つ（締め切り 11 月中旬予定）
- ③ 集合研修 1：講義と演習（9/10（土）または 9/24（土））  
講義：日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の歩み、組織について、生涯研修制度について  
演習：社会福祉士としての専門性について考える
- ④ 集合研修 2：講義と演習（12/17（土）または 1/7（土））  
講義：社会福祉士共通基盤の理解、倫理綱領・行動規範の理解  
演習：社会福祉士の倫理綱領の現場適応

### ○研修申込について

申込方法：別紙の申込用紙に記載しています必要事項を記入の上、本会までお申し込みください。  
申込締め切り：2016 年 6 月 30 日（木）期限厳守でお願いします。

一般社団法人兵庫県社会福祉士会  
2016年度 基礎研修Ⅰ参加申込書

最終版

私は下記の通り、基礎研修Ⅰに申し込みいたします。(※必須事項)

(ふりがな) ※お名前			
※会員区分 該当にチェック して下さい。	日本社会福祉士会が発行した会員番号 <input type="checkbox"/> 会員 (No. _____) 受講料 8,000円 (別途テキスト代5,000円) <input type="checkbox"/> 非会員 受講料 16,000円 (別途テキスト代5,000円)		
所属の都道府県 社会福祉士会	(※兵庫以外の方はご記入ください。)		
※連絡先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	住所 〒 _____		
	勤務先名 (連絡先が勤務先の場合のみ)		
	TEL : _____ FAX : _____		
	E-Mail : _____		
勤務先名			
相談援助経験年数 (※1)	年 _____ 月 _____ 日 ※累計年数を記載してください。	職種 (※1)	
参加者名簿へ の掲載	参加者名簿には、氏名、会員区分、勤務先を掲載します。 名簿に会員区分、勤務先の掲載を希望しない方は、以下の <input type="checkbox"/> にチェックをご記入ください。 <input type="checkbox"/> 参加者名簿への会員区分、勤務先の掲載を希望しません。(氏名は掲載させていただきます)		
集合研修1の 希望日について	① 9月10日(土)希望 ② 9月24日(土)希望 ③ どちらの日程でもよい いずれかに○をお願いします。希望日が集中した場合は、個別に調整させていただきますので、ご協力よろしくお願ひいたします。		
備考欄			

※1 講義中にグループ討議があり、グループ割りに必要となりますので必須です。

注) お預かりした個人情報、当研修会の運営目的外には使用いたしません。

【自然災害発生等の場合】やむを得ず研修会を延期する場合があります。その判断基準等は、本会ホームページをご参照ください。

【受講に際して必要な配慮等がある場合】本票備考欄に具体的にお書きください。配慮が必要な受講者への対応については、本会ホームページをご参照ください。(本会HP：[www.hacsw.or.jp/](http://www.hacsw.or.jp/))

★申込方法★

- ・申込用紙にご記入の上、郵送・FAX・メールにて事務局へお申込ください。
- ・先着順にて受講を決定します。なお、定員を超えた場合は、本会より連絡いたします。
- ・受講決定通知書と事前課題を7月上旬までにお送りします。
- ・締め切り：2016年6月30日(木)まで
- ・受講決定後、期日までに指定口座へ受講料の振込をお願いいたします。
- ・申し込み先及び問い合わせ先：兵庫県社会福祉士会 事務局 中村  
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5階  
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340  
Mail：entry@hacsw.or.jp

# 基礎研修Ⅱのご案内

最終版

## 基礎研修は社会福祉士の必須研修です

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、2012年度より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

2012年度～2015年度「基礎研修Ⅰ」を修了された皆さまには「基礎研修Ⅱ」のご案内をお送りしています。

本研修は認定社会福祉士申請の認定単位ともなります。ぜひ期限内にお申込みください。

（なお、2016年度成年後見人養成研修の受講要件は、「基礎研修Ⅰ修了者」です。）

開催期間：2016年4月1日（金）～2017年3月31日（金）

対象者：2012年度～2015年度に基礎研修Ⅰを修了された方

受講料：社会福祉士会会員 20,000円 非会員 30,000円

（別途ワークブック代：800円（予定））

会場：兵庫県福祉センター

主催：兵庫県社会福祉士会生涯研修センター

### ○基礎研修Ⅱの流れ

受講申込→受講決定→集合研修1→集合研修2  
→集合研修3→集合研修4→集合研修5  
→集合研修6→集合研修7→集合研修8  
→集合研修9

※基本的に月に1回ずつ、上記の順に集合研修1～9を受講していただくほか、自宅学習があります。

※原則全日程を兵庫会場にて受講してください。なお、事情により受講できない日程は、事前にご相談ください。

（全9回の集合研修のうち、最大3回までは近畿ブロック内の他会場へ振り替えることが可能です）

### ○スケジュール（日程は変更の場合あり）

2016年 3月～4月 受講申し込みおよび受講決定 定員80名

2016年 5月～9月 集合研修1（5/21）、集合研修2（7/9）、集合研修3（8/6）、集合研修4（9/10）

2016年 10月～12月 集合研修5（10/8）、集合研修6（11/5）、集合研修7（12/17）

2017年 1月～2月 集合研修8（1/7）、集合研修9（2/4）

### ○研修内容

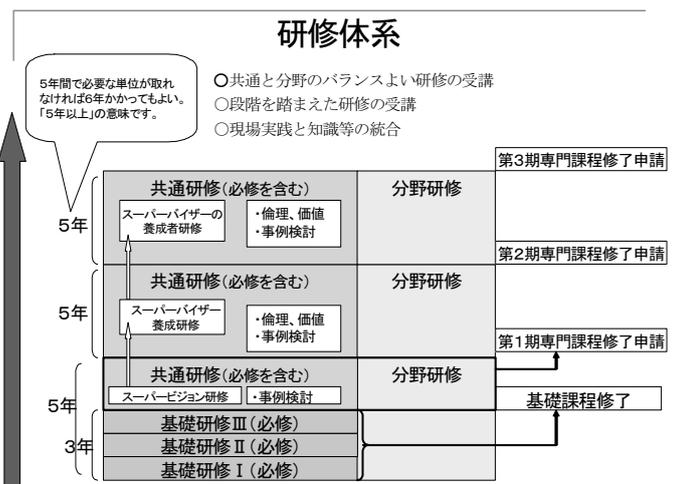
兵庫県ではDVDを活用した研修を特別講師による特別講義で実施します。（一部異なる場合があります）

- ①ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ（相談業務の視座と展開過程、実践のためのアプローチ他）
- ②地域開発・政策系科目Ⅰ（社会資源の理解と社会資源開発、連携システムの在り方とネットワーク構築他）
- ③人材育成系科目Ⅰ（スーパービジョンとは）
- ④権利擁護・法学系科目Ⅰ（社会福祉における法、ソーシャルワークと権利擁護の視点）
- ⑤実践評価・実践研究系科目Ⅰ（実践研究の意義と方法・記録・評価の方法、実践研究発表の方法）

### ○研修申込について

申込方法：別紙の申込用紙に記載しています必要事項を記入の上、本会までお申し込みください。

申込締め切り：2016年4月22日（金）期限厳守でお願いします。



一般社団法人兵庫県社会福祉士会  
2016年度 基礎研修Ⅱ参加申込書

最終版

私は下記の通り、基礎研修Ⅱに申し込みいたします。(※必須事項)

(ふりがな) ※お名前			
※会員区分 該当にチェック して下さい。	日本社会福祉士会が発行した会員番号 <input type="checkbox"/> 会員 (No. _____) 受講料 20,000 円 (別途ワークブック代 800 円) <input type="checkbox"/> 非会員 受講料 30,000 円 (別途ワークブック代 800 円)		
所属の都道府県 社会福祉士会	(※兵庫以外の方はご記入ください。)		
※連絡先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	住所 〒 _____		
	勤務先名 (連絡先が勤務先の場合のみ)		
	TEL : _____ FAX : _____		
	E-Mail : _____		
勤務先名			
相談援助経験年数 (※1)	年 月 ※累計年数を記載してください。	職種 (※1)	
参加者名簿への 掲載	参加者名簿には、氏名、会員区分、勤務先を掲載します。 名簿に会員区分、勤務先の掲載を希望しない方は、以下の <input type="checkbox"/> にチェックをご記入ください。 <input type="checkbox"/> 参加者名簿への会員区分、勤務先の掲載を希望しません。(氏名は掲載させていただきます)		
備考欄			

※1 講義中にグループ討議があり、グループ割りに必要となりますので必須です。

注) お預かりした個人情報、当研修会の運営目的外には使用いたしません。

【自然災害発生等の場合】やむを得ず研修会を延期する場合があります。その判断基準等は、本会ホームページをご参照ください。

【受講に際して必要な配慮等がある場合】本票備考欄に具体的にお書きください。配慮が必要な受講者への対応については、本会ホームページをご参照ください。(本会HP：[www.hacsw.or.jp/](http://www.hacsw.or.jp/))

★申込方法★

- ・申込用紙にご記入の上、郵送・FAX・メールにて事務局へお申込ください。
- ・先着順にて受講を決定します。なお、定員を超えた場合は、本会より連絡いたします。
- ・受講決定通知書と事前課題を5月初旬までにお送りします。
- ・締め切り：2016年4月22日(金)まで
- ・受講決定後、期日までに指定口座へ受講料の振込をお願いいたします。
- ・申し込み先及び問い合わせ先：兵庫県社会福祉士会 事務局 中村  
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5階  
TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340  
Mail：entry@hacsw.or.jp

# 基礎研修Ⅲのご案内

最終版

## 基礎研修は社会福祉士の必須研修です

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎研修課程として、2012 年度より、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと3段階（3年間）をかけて修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、社会福祉士として基本的な知識や援助技術、ソーシャルワークの価値の基本を学ぶ必須研修として開催します。また、認定社会福祉士申請に必要な研修となっています。

2013 年度～2015 年度に「基礎研修Ⅱ」を修了された（または予定の）皆さまには「基礎研修Ⅲ」のご案内をお送りしています。本研修は、認定社会福祉士申請の認定単位ともなります。ぜひ期限内にお申込みください。

（なお、2016 年度成年後見人養成研修の受講要件は、「基礎研修Ⅰ 修了者」です。）

開催期間：2016 年 4 月 1 日（金）～2017 年 3 月 31 日（金）

対象者：2013 年度～2015 年度に基礎研修Ⅱを修了された方

受講料：社会福祉士会会員 20,000 円 非会員 30,000 円

（別途資料代：1,700 円（予定））

会場：兵庫県福祉センター

主催：兵庫県社会福祉士会・生涯研修センター

### ○基礎研修Ⅱの流れ

受講申込→受講決定 →集合研修 1→集合研修 2  
→集合研修 3→集合研修 4→集合研修 5  
→集合研修 6→集合研修 7→集合研修 8  
→集合研修 9→集合研修 10

※基本的に月に1回ずつ、上記の順に集合研修1～10を受講していただくほか、自宅学習、科目修了レポートがあります。

※原則全日程を兵庫会場にて受講してください。なお、事情により受講できない日程は、事前にご相談ください。

（全10回の集合研修のうち、最大3回までは近畿ブロック内の他会場へ振り替えることが可能です）

### ○スケジュール（変更の場合あり）

2016 年 3 月～ 4 月 受講申し込みおよび受講決定 定員 80 名

2016 年 5 月～ 9 月 集合研修 1（5/21）、集合研修 2（7/9）、集合研修 3（8/6）、集合研修 4（9/10）

2016 年 10 月～ 12 月 集合研修 5（10/8）、集合研修 6（11/5）、集合研修 7（12/17）

2017 年 1 月～ 2 月 集合研修 8（1/7）、集合研修 9（2/4）、集合研修 10（3/4）

### ○研修内容

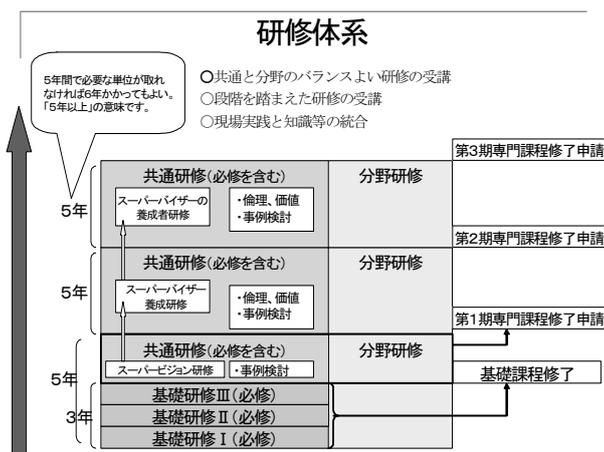
兵庫県ではDVDを活用した研修を特別講師による特別講義で実施します。（一部異なる場合があります）

- ①実践評価・実践研究系科目Ⅰ（対人援助と事例研究、事例研究の基本的枠組み他）
- ②ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ（実践事例演習Ⅱ）
- ③権利擁護・法学系科目Ⅰ（意思決定の支援）
- ④地域開発・政策系科目Ⅰ（地域における福祉活動、地域の課題の解決に向けた具体策）
- ⑤人材育成系科目Ⅰ（スーパービジョンのモデルセッション、新人教育プログラム）
- ⑥サービス管理・経営系科目Ⅰ（リスクマネジメント、苦情解決システム、事例研究他）

### ○研修申込について

申込方法：別紙の申込用紙に記載しています必要事項を記入の上、本会までお申し込みください。

申込締め切り：2016 年 4 月 22 日（金）期限厳守でお願いします。



一般社団法人兵庫県社会福祉士会  
2016年度 基礎研修Ⅲ参加申込書

最終版

私は下記の通り、基礎研修Ⅲに申し込みいたします。(※必須事項)

(ふりがな) ※お名前			
※会員区分 該当にチェック して下さい。	日本社会福祉士会が発行した会員番号		
	<input type="checkbox"/> 会員	(No. _____)	受講料 20,000 円 (別途資料代 1,700 円)
	<input type="checkbox"/> 非会員		受講料 30,000 円 (別途資料代 1,700 円)
所属の都道府県 社会福祉士会	(※兵庫以外の方はご記入ください。)		
※連絡先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先	住所 〒 _____		
	勤務先名 (連絡先が勤務先の場合のみ)		
	TEL : _____ FAX : _____		
	E-Mail : _____		
勤務先名			
相談援助経験年数 (※1)	年 月 ※累計年数を記載してください	職種 (※1)	
参加者名簿へ の掲載	参加者名簿には、氏名、会員区分、勤務先を掲載します。 名簿に会員区分、勤務先の掲載を希望しない方は、以下の <input type="checkbox"/> にチェックをご記入ください。 <input type="checkbox"/> 参加者名簿への会員区分、勤務先の掲載を希望しません。(氏名は掲載させていただきます)		
備考欄			

※1 講義中にグループ討議があり、グループ割りに必要となりますので必須です。

注) お預かりした個人情報、当研修会の運営目的外には使用いたしません。

【自然災害発生等の場合】やむを得ず研修会を延期する場合があります。その判断基準等は、本会ホームページをご参照ください。

【受講に際して必要な配慮等がある場合】本票備考欄に具体的にお書きください。配慮が必要な受講者への対応については、本会ホームページをご参照ください。(本会HP：[www.hacsw.or.jp/](http://www.hacsw.or.jp/))

★申込方法★

- ・申込用紙にご記入の上、郵送・FAX・メールにて事務局へお申込ください。
  - ・先着順にて受講を決定します。なお、定員を超えた場合は、本会より連絡いたします。
  - ・受講決定通知書を5月初旬にお送りします。
  - ・締め切り：2016年4月22日(金)まで
  - ・受講決定後、期日までに指定口座へ受講料の振込をお願いいたします。
  - ・申し込み先及び問い合わせ先：兵庫県社会福祉士会 事務局 中村
- TEL：078-265-1330 FAX：078-265-1340  
Mail：entry@hacsw.or.jp

# 2016年度 成年後見人養成研修募集要項

2016年度成年後見人養成研修（認定社会福祉士認証・認定機構による認定研修）を、下記の要項で開催いたします。兵庫県社会福祉士会所属会員の修了者は権利擁護センターぱあとなあ兵庫成年後見人候補者名簿に登録することができます。（※別途名簿登録料が必要です）

1. **主催** 一般社団法人兵庫県社会福祉士会
2. **研修区分** 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修 認証番号：20150017  
「分野専門（高齢）ソーシャルワーク機能別科目群 後見制度の活用（成年）2単位」
3. **研修目標** 成年後見人等として実務を担う社会福祉士（成年後見人等受任候補者）の養成を目的とする。
4. **開催日**  
第1日目 2016年7月10日（日）9時30分～17時00分  
第2日目 2016年8月7日（日）9時30分～17時00分  
第3日目 2016年9月4日（日）9時30分～17時00分  
第4日目 2016年10月2日（日）9時30分～17時00分  
第5日目 2016年11月13日（日）9時30分～17時00分
5. **会場** 兵庫県福祉センター2階203会議室 所在地：神戸市中央区坂口通2-1-1  
JR灘駅より徒歩約10分 阪急王子公園駅 徒歩約10分
6. **受講対象** 次の要件のすべてを満たす者  
(1) 兵庫県在住、または在勤の社会福祉士。または、本会与契約を交わした都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士。  
(2) 研修修了後成年後見人候補者名簿に登録し、受任できる者  
(3) 兵庫県社会福祉士会会長が成年後見活動に資すると認める者、及び、本会与契約を交わした都道府県の会長が認める者  
(4) カリキュラムの全課程を出席できる者  
(5) 日本社会福祉士会の基礎研修Ⅰを受講済みである者、若しくは2011年度までの旧基礎研修を受講済みである者  
(6) 2016年4月1日において70歳未満であること。（兵庫県社会福祉士会所属会員のみ）
7. **定員** 80名 ※なお、受講申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することもあります。
8. **受講費** 5万円（別途市販テキスト代、約14,000円が必要となります。）  
※一旦納入された受講費は、主催者の責による場合以外は返金いたしません。  
使用テキスト①『権利擁護と成年後見実践』メインテキスト ②『後見六法』  
③『専門職後見人と身上監護』 ④『成年後見実務マニュアル』

9. 申 込 別紙1の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、兵庫県社会福祉士会の事務局に、郵便または、FAXにてお申送ください。（電話・E-mailでの申込は受け付けておりません）
- ◆申込先 兵庫県社会福祉士会事務局
  - ◆申込期間 **2016年4月4日～4月22日 定員となり次第締め切ります。**  
※郵便は締切日の消印有効、FAXは締切日に必着。

9. 受講決定 受講決定は、あらかじめ決められた定員に基づき、兵庫県社会福祉士会にて決定します。

## 10. 受講可否の連絡等

- ・受講可否は、5月中旬までに郵便にてご連絡します。申込者が定員を越えた場合は、受講できない場合がありますのでご了承ください。
- ・受講申込が一定数に満たない場合は、研修開催を中止することがありますのでご了承ください。
- ・会場案内、受講費の納入方法、テキストの購入方法、事前課題、およびキャンセル等の扱いについては、受講可否の連絡時にご案内します。

11. 修了要件 研修の修了には、次の基準を満たす必要があります。

- ・面接授業の出席が100%であること
- ・事前課題を提出すること
- ・修了評価で一定の水準を満たすこと

## 12. 研修単位について

- (1) 公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度においては、新生涯研修制度では専門課程の2単位となり、旧生涯研修制度では「専門分野別研修」となります。

- (2) 本研修は、認定社会福祉士制度の研修として認証されています。

認証科目：後見制度の活用（成年）（分野専門/高齢分野、ソーシャルワーク機能別科目群）

単位数：2単位

認証番号：20150017

注：分野については、認定社会福祉士の認定申請をするときに、自身の申請をしようとする分野の単位として扱うことができます。「後見制度の活用（成年）」は、高齢分野のほか、障害分野、医療分野、地域社会・多文化分野の認定申請者も各分野の単位として扱うことができます。

13. カリキュラム (1) 講義・演習等：5日間29.5時間 (2) 事前課題：指定する7科目 別紙2参照

問い合わせ先	兵庫県社会福祉士会 事務局（担当 北野）
連絡先	〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5F 兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫事務局
TEL	: 078-222-8107 FAX: 078-265-1340

## 2016年度 成年後見人養成研修 カリキュラム

使用テキスト ①『権利擁護と成年後見実践』（メインテキスト） ②『後見六法』  
③『専門職後見人と身上監護』 ④『成年後見実務マニュアル』

	科目	科目の目標	時間(分)	形態	講師	使用テキスト				課題
						①	②	③	④	
1日目 7/10 (日) 9:30 ~ 17:00	1 研修ガイダンス 09:30~10:00	1 研修の目的(=受任者養成)を確認する。 2 研修概要、スケジュール、事前課題とその取り扱い等を理解する。 3 受講における留意点及び修了要件を理解し、受講姿勢を明確にする。	30	講義	ばあとなあ	○	○			
	2 社会福祉士と成年後見 ~権利擁護の視点から 10:10~12:10	1 社会福祉士の専門性を活かした成年後見人等としての活動内容を理解する。 2 後見活動を行ううえで必要な権利擁護の視点や、行動規範としての倫理、最新動向を理解する。	120	講義	ばあとなあ	○	○	○		
	3 成年後見制度の解説 13:00~16:40	1 制度が成立した背景及び制度の趣旨と理念を理解する。 2 法定後見制度と任意後見制度の概要を理解する。 3 後見制度の周辺にある制度を理解する。	210	講義	弁護士	○	○	○		●
2日目 8/7 (日) 9:30 ~ 17:00	4 社会福祉士会と 成年後見活動 9:30~10:30	1 権利擁護センターばあとなあ機能、組織について理解する。 2 都道府県社会福祉士会ばあとなあの活動について理解する。 3 研修修了後の名簿登録、候補者紹介、受任、活動報告書の流れを理解する。 4 他団体の動きを理解する。	60	講義	ばあとなあ	○	○			
	5 成年後見活動のための 精神医学 10:40~12:10	1 後見制度における診断書、鑑定書について理解する。 2 認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等を理解するために必要な医学的知識を習得する。	90	講義	医師	○	○			
	6 家庭裁判所の 実務の理解 13:00~14:30	1 家裁における後見担当部局の概要(裁判官、調査官、書記官それぞれの役割)を理解する。 2 家裁における家事審判手続きについて理解する。	90	講義	家庭裁判所書記官・調査官	○	○			
	7 演習1 (ばあとなあにおける 相談演習) 14:40~16:40	1 ばあとなあにおける相談の実際について、事例を検討しながら理解を深める。 2 事例を通して成年後見制度等の特徴を理解する。	120	演習	ばあとなあ	○	○		○	●
3日目 9/4 (日) 09:30 ~ 17:00	8 財産法の基礎 9:30~12:00	成年後見人等として活動する際に必要な財産法の基礎的知識を習得する。	150	講義	弁護士	○	○			●
	9 財産管理のための 知識 13:00~15:00	1 成年後見活動に必要な財産管理の基本的事項を理解する。 2 財産管理に必要な具体的方法に関する知識を習得する。	120	講義	司法書士	○	○		○	
	10 後見事務の実際1 15:10~16:40	財産管理の知識を具体的活動事例を通して理解する。	90	報告 解説	ばあとなあ 司法書士	○	○		○	
4日目 10/2 (日) 09:30 ~ 17:00	11 家族法の基礎 9:30~12:00	1 成年後見人等として実際に活動する際に必要な親族法の基礎知識を習得する。 2 成年後見人等として実際に活動する際に必要な相続法の基礎知識を習得する。	150	講義	弁護士	○	○			●
	12 身上監護のための 知識 13:00~15:00	1 身上監護を行ううえで、ふまえておくべき考え方を理解する。 2 身上監護とされる項目を習得する。 3 後見活動上の留意点に配慮できるようになる。 4 権利侵害に対抗する手続きを理解する。	120	講義	ばあとなあ	○	○	○	○	
	13 後見事務の実際2 15:10~16:40	身上監護の知識を具体的活動事例を通して理解する。	90	報告 解説	ばあとなあ	○	○	○	○	
5日目 11/13 (日) 9:30 ~ 17:00	14 演習2 (初回報告のための 演習) 9:30~12:00	1 成年後見人として1ヶ月以内に行う事務について、事例を検討しながら理解を深める。 2 成年後見人として受任直後に行う財産の調査及び目録の作成事務について、事例を検討しながら理解を深める。	150	演習	ばあとなあ	○	○		○	●
	15 演習3 (後見計画策定演習) 13:00~15:00	1 事例にもとづいて検討することで、後見業務について理解を深める。 2 今後1年くらいに想定される後見事務を中心に実際に後見計画を策定し、後見業務の見通しをたてる。	120	演習	ばあとなあ	○	○	○	○	●
	16 今後の後見活動に ついて(修了評価) 15:10~16:40	1 研修を振り返り、本研修修了後名簿登録し、後見人として活動していくことを共有する。	90		ばあとなあ	○	○			●

## 2016年度成年後見人養成研修（認証研修） 受講申込書

下記の通り、受講を申し込みます。

所属都道府県 社会福祉士会名			
(ふりがな) 申込者氏名			
連絡先住所	〒		
連絡先電話番号			
連絡先FAX番号 (ある場合)			
社会福祉士 登録番号	※社会福祉士登録証に記載されている番号を記載ください。		
<b>受講要件の確認</b> ※□に■(チェック)を入れてください。 ※要件の全てを満たす必要があります。	<input type="checkbox"/> 会員番号		※受講要件1
	<input type="checkbox"/> 研修修了後、権利擁護センターばあとなあに名簿登録し、受任できる		※受講要件2
	<input type="checkbox"/> カリキュラムの全課程を出席できる		※受講要件4
	<input type="checkbox"/> 基礎研修Ⅰを受講済み(修了年度:            年度)	※修了証添付のこと	※受講要件5
	<input type="checkbox"/> 旧基礎研修を受講済み		
<input type="checkbox"/> 2016年4月1日時点で70歳未満の者(兵庫県のみ)		※受講要件6	
その他	※受講に関して特に配慮が必要な場合は具体的な内容を記入ください。		

**【申込方法】** 必要事項をご記入のうえ、兵庫県都道府県社会福祉士会の事務局まで郵便またはFAXにてお申込ください。(電話・E-mailでの申込は受け付けておりません)

**【申込先】** 兵庫県社会福祉士会事務局

**【申込期間】** 4月4日～4月22日 ※定員となり次第締め切ります。

※郵便での申込は締切日消印有効、FAXでの申込は締切日必着。

<b>社会福祉士会 チェック欄</b>	<input type="checkbox"/> 後見活動に資すると認める。(受講要件3) <input type="checkbox"/> 受講要件(受講要件1, 2, 4, 5, 6)を確認し受講決定を認める。 ※ 受講を認めない場合は、所属都道府県社会福祉士会から受講申込者に、受講不可の旨を受講者に連絡ください。
-------------------------	--

# 2016年度 地域包括支援センター 初任者研修



～地域包括支援センターの機能・役割や最新動向などについて学ぼう！～

後援：兵庫県看護協会、兵庫県介護支援専門員協会

地域包括支援センターのあり方や役割、三職種におけるチームアプローチの重要性についてわかり易く学びます。本研修ではセンター業務の基本となる「総合相談支援業務」と「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」を中心に、地域包括支援センターに関連する制度や最新動向についても講義とグループワーク（意見交換）を交えて理解を深めます。

新人職員の方はもちろん、ベテラン職員の方でも改めて地域包括支援センターの業務や役割などについて理解を深め、振り返りができる内容となっています！

日時

2016年5月16日（月）10：00～16：45

会場

兵庫県福祉センター（大会議室203）

対象者

兵庫県内の地域包括支援センターに従事する社会福祉士、保健師等、主任ケアマネジャー、サブセンター・プラン・行政職員等

参加料

①社会福祉士会員：3,000円 ②一般：5,000円

主催

兵庫県社会福祉士会（地域包括支援センター支援委員会）

使用テキスト

- 『地域包括支援センター運営マニュアル～地域の力を引き出す地域包括ケアの推進をめざして～平成27年6月発行』  
長寿社会開発センターホームページで購入してください。



研修  
内容

- 講義  
「総合相談支援業務」  
「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」
- グループ討議（意見交換）

講師

土屋 幸己

公益財団法人さわやか福祉財団  
戦略アドバイザー（社会福祉士）

<経歴> 1981年淑徳大学社会福祉学部卒業。

知的障害児施設、特別養護老人ホーム、知的障害者通所授産施設、知的障害者更正施設、療育事業コーディネイター、静岡県富士宮市地域包括支援センター長を経歴。2015年10月から現職。静岡県社会福祉士会所属。



# 2016年度 地域包括支援センター初任者研修 参加申込書

申込み先：FAX 078-265-1340

(ふりがな) 名 前			
住 所	〒		
連絡先	TEL (自宅・職場・携帯) FAX Email		
職 種	①社会福祉士 ②保健師 ③主任ケアマネジャー ④行政職員 ⑤その他	地域包括支援 センター勤務歴	年 月
職場 (勤務先)			
参加申込 該当に○印を つけてください	ア. 会員・準会員 3,000円 (社会福祉士会 会員 NO. ) イ. 一 般 5,000円		
備 考			

- 先着順での受付となります。定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。
- 研修当日は、『地域包括支援センター運営マニュアル～地域の力を引き出す地域包括ケアの推進をめざして～平成27年6月発行』をご持参ください。※長寿社会開発センターホームページで購入してください。当日の販売はありません。

## 申込方法

- 申込書に必要事項を記入し、FAXまたは郵送でお申し込みください(先着順)。
- 参加費は当日受付にて現金でお支払い頂きますようお願いいたします。
- 「受講決定通知書」を順次FAXにて送付します。必ずFAX番号をご記載ください。「受講決定通知書」を研修当日に、ご持参ください。
- ※ 申込者数が一定人数に満たない場合、研修を中止することがあります。その際、中止のお知らせは、申込書に記載してある連絡先にご連絡します。

**(会場) 兵庫県福祉センター**  
 JR灘・阪神岩屋・阪急王子公園各駅から徒歩10分・市バス上筒井1丁目バス亭すぐ  
 (阪急三宮駅前から市バス「石屋川車庫」乗車)  
 住所：神戸市中央区坂口通2-1-1

## ＜申込み先(問い合わせ先)＞

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 事務局 (担当：中村)  
 〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5F  
 ○TEL 078-265-1330 / FAX 078-265-1340  
 ○当日連絡先 090-1489-5946 (担当：渡邊【わたなべ】)

## 2016年度 阪神ブロック総会の開催について

1993年に設立された兵庫県社会福祉士会は、広圏域に渡るとともに、会員数も年々増加し、昨年度は1400名を超えました。このため、地区会員の相互交流、組織化等を目的として2000年度より県内における地区ブロック化を推進しており、2005年11月に阪神ブロックが設立されました。阪神ブロック区域に居住される会員の皆様は、是非、阪神ブロックの総会にご出席いただきますとともに、阪神ブロックの活動にご参加・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

今年度の記念講演は、「県立尼崎総合医療センターにおける虐待ケースへのCPT（Child Protection Team）の取組～病院と地域、医療と福祉の連携で守る命～」(仮題)について、同センター小児科科長の毎原敏郎先生にお話していただきます。また、総会終了後には、交流会・懇親会を開き、会員の親睦を図りたいと考えています。阪神ブロック以外の方や会員以外の方も歓迎いたします。多数の方にご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 2016年度 阪神ブロック総会

1. 日 時            2016年5月28日(土) 13:30～16:40 (受付13:00～)
2. 場 所            尼崎市立すこやかプラザ 尼崎市七松町1-3-1 フェスタ立花南館5F  
                          ※JR立花駅より改札口北へすぐ(有料駐車場あり)
3. 内 容            13:00～            受付  
                          13:30～13:40      あいさつ、オリエンテーション  
                          13:40～15:00      記念講演「県立尼崎総合医療センターにおける虐待ケースへのCPT（Child Protection Team）の取組～病院と地域、医療と福祉の連携で守る命～」(仮題)

講師：兵庫県立尼崎総合医療センター毎原敏郎先生（小児科科長）



兵庫県立尼崎総合医療センター  
小児科科長  
毎原 敏郎

日本小児科学会 小児科専門医・代議員  
日本小児神経学会 小児神経専門医  
京都大学医学部附属病院小児科 臨床教授

同病院では「こども家庭支援室」を設立され、疾患だけでなく、成長・発達という視点や心理的な面、家庭・学校など子どもが育つ環境など、医師、看護師等の医療スタッフとともに臨床心理士・音楽療法士・MSW等とチーム医療を進めておられます。

- 15:10～15:50      阪神ブロック総会（事業報告、事業計画、会計報告等）
- 15:50～16:40      交流会（茶話会）/終了
- 17:00～19:30      懇親会（会場周辺で調整中）

4. 参加費            無料      (懇親会は別途4,000円程度)
5. 申し込み          別紙に記入の上、**5月20日(金)までに**下記の阪神ブロック西宮事務局まで、FAX、またはメールにてお申し込みください。  
                          ※阪神ブロック会員の方には、後日、出欠確認ハガキを送付いたします。
6. 当日連絡先      090-3033-7205 (阪神ブロック 岡本)

(阪神ブロック西宮事務局) 担当：國本

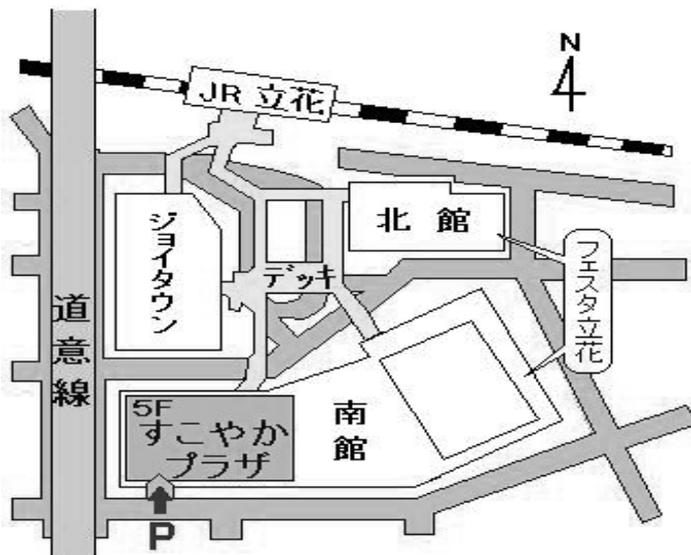
(FAX) 0798-36-1079、(メール) yasuo-k@hcc1.bai.ne.jp

# 2016度 兵庫県社会福祉士会

## 阪神ブロック総会

(ふりがな) お名前	
住 所	〒 TEL E-mail
会員 NO.	
所属 (勤務先)	
総 会 (1つ〇をしてください)	5月28日(土)総会に 1. 出席します                    2. 欠席します (欠席の場合、以下の委任欄に✓をつけて下さい) <input type="checkbox"/> 議決について <u>議 長</u> に委任します <input type="checkbox"/> 議決について _____ に委任します
懇親会	1. 出席します                    2. 欠席します
阪神ブロック メーリング	阪神ブロックメーリングに未登録の方は是非ご登録ください(アドレス: _____)

### 【会場地図】



### 【アクセス】

JR神戸線 立花駅  
改札を出て南へ徒歩3分  
(立花駅よりウォーキングスルーで直結)

市バス〈14・15・30・47番〉JR立花(上)  
⇒ JR立花駅を通り、南へ徒歩3分  
市バス〈43・49・50番〉JR立花(下)  
⇒ 南へ徒歩2分

名神高速道路 尼崎インターより  
⇒ 南西へ約10分  
(南館3F・4Fに有料駐車場あり)

5月20日(金)までに本票を阪神ブロック西宮事務局までFAXまたはメールしてください。

事務局FAX番号(0798-36-1079)

2016年度マインドフルネス研修

# ヨーガ療法体験講座のご案内

## ～マインドフルネス体験～



ヨーガ療法は、約 4,500 年前よりヨーガ行者たちによって現代にまで伝承されてきた伝統的なヨーガを、誰にでも実習できるようにアレンジしたものです。そのため、私たちの肉体的な健康のみならず、精神的・社会的(人間関係)・スピリチュアル的な次元のものまで健康状態を実現できる統合的な人間教育法になっています。

また、ヨーガ療法は、ヨーガ行者たちが培ってきたストレス対処技法を数多く伝承しているため、現代社会における過剰なストレスによる様々な身体的・精神的な不調や疾患に対して、私たちの自己存在を健やかなものにしていくことが可能となり、ストレスに起因する肉体的な疾患や、うつ病やパニック障害など精神的な疾患などに有効とされています。

ヨーガは、難しいものではありません。体の硬さも年齢も関係なく、誰でも自分に合ったレベルで始められるのが、ヨーガのよさです。マインドフルネス体験の一環として、静かに体と心に向き合い、気持ちよさを感じるひときは、精神を安定させ心身をより健やかな状態へと導いてくれます。

はじめての方も是非、これを機会にヨーガを体験してみましょう。

1. 日時 2016年5月29日(日) 13:30~15:30 (受付13:00~)
2. 場所 ヨーガスタジオ・チャンドラ (西宮市高松町16-11) TEL0798-20-2876  
(阪急西宮北口駅下車、東改札口から1階におり、線路沿いに東へ徒歩3分)
3. 募集人数 20名程度 (先着順にて受付。申込み多数の場合、お断りすることがあります。)
4. 持ち物 ジャージ等、タオル (動きやすい服装) ※更衣室あります
5. 参加費 会員 2,000円 非会員 3,000円
6. 予定  
13:00 受付開始  
13:30 ヨーガ療法に関するお話 (30分)  
ヨーガ療法体験 (90分)  
15:30 終了  
16:30 茶話会 (ティタイム) ※自由参加



7. 申込先 5月20日(金)までに別紙を郵送またはFAX、メールにて申し込んでください。  
※先着順のため、定員を超えた場合お断りする場合があります。  
※受講決定通知を5月中旬に送付します。  
※5月20日(金)までに参加費を振込口座に入金をお願いします。  
振込料は各自にて実費負担をお願いします。(振込後の返金はできません)

兵庫県社会福祉士会 事務局

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター内

電話 078-265-1330 FAX 078-265-1340

メール entry@hacsw.or.jp

8. 講師紹介 古市 佳也氏 (日本ヨーガ療法学会会員、学会認定ヨーガ療法士)  
認定ヨーガ療法士会兵庫・幹事長

FAX (078) 265-1340

# 兵庫県社会福祉士会

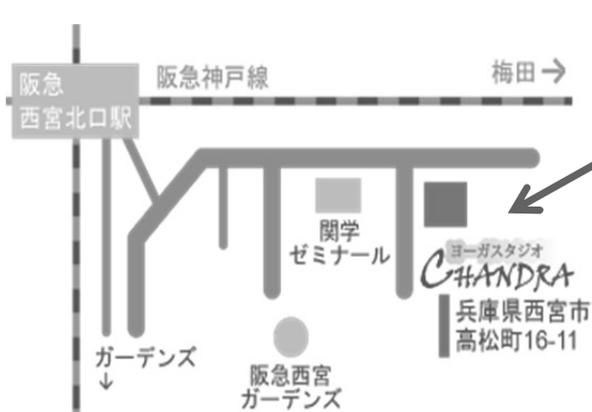
## — ヨーガ体験講座 参加申込書 5/29 開催 —

私は下記の通り、研修会に申込みいたします。

お名前	
ご住所	〒
会員番号	
ご連絡先	TEL (自宅・職場・携帯) FAX Email
勤務先等	
参加申込み	① 会員 2000円
該当に○印	② 非会員 3000円
振込口座	三井住友銀行 神戸営業部(普) 9429534 一般社団法人兵庫県社会福祉士会

◎研修会に参加希望の方は、5月20日(金)までに、本票を本会事務局までFAXまたは郵送の上、参加費を振込口座に入金してください。(キャンセルによる、振込後の返金はできません)

ヨーガスタジオ・チャンドラ



阪急「西宮北口駅」下車、東改札口から1階におり、線路沿いに東へ徒歩3分

2016年度

主催：兵庫県社会福祉士会 実習教育支援委員会

# 「社会福祉士実習教育支援者研修（実習評価編）」

## 実習評価とは何か～具体的な評価方法と評価の考え方～

（旧「社会福祉士実習指導者フォローアップ研修」）

相談援助実習の評価票は各大学により大きく異なっており、実習受入施設ではとまどうことが多いのではないのでしょうか。自分の評価に自信がなかったり、独自の解釈で評価せざるを得ないと考えている方も多いのではないかと思います。今回の研修は、広く実習教育に関わっている方を対象に、多角的な視点で実習評価について考えます。

評価の考え方や実習生に対する総評の実際などを学ぶことにより、実習指導関係者の資質向上と実習教育に関わる様々な方々との意見交換を目的とします。

終了後は交流の席（懇親会）を設けましたので、ぜひ、情報交換の場としてご活用ください。

### 【受講対象者】

- ・日本社会福祉士会および各都道府県社会福祉士会主催あるいは、全国社会福祉協議会主催の「社会福祉士実習指導者講習会」を修了している方
- ・社会福祉士実習受入施設で実習受入調整や実習評価に関わっている方
- ・社会福祉士養成校で実習指導に関わっている方
- ・実習生として評価を受けた方

- 開催日時 2016年6月11日（土）  
10:00～17:00（受付：9:30から）
- 会場 兵庫県福祉センター203会議室（神戸市中央区坂口通2-1-1）
- 定員 80人（先着順にて申し込みを受付します。受講できない場合のみ事務局より連絡をさしあげます。連絡がない場合はそのままお越しください。）
- 内容（予定）  
10:00～10:10 主催者あいさつ オリエンテーション  
10:10～11:40 「講義 実習評価の実際（実習受入施設から）」  
講師：神戸朝日病院地域医療連携室課長 安居正江氏  
12:40～14:10 「演習 実習評価コメントの考え方」  
講師：兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏  
14:20～16:50 「シンポジウム 実習評価の課題と対応策」  
関西学院大学人間福祉学部准教授 川島恵美氏  
兵庫県社会福祉士会事務局長 西野佳名子氏  
神戸朝日病院地域医療連携室課長 安居正江氏  
16:50～17:00 研修のまとめ・終了  
17:15頃～19:30頃 懇親会（近隣の店舗にて実費4000円程度）
- 受講料 当日受付にてお支払ください。領収書発行を発行します。  
社会福祉士会会員（近畿ブロック内）3,000円、非会員5,000円  
※近畿ブロックとは、兵庫・大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山の各社会福祉士会です
- 申込方法 別紙に必要事項を記入し、FAXまたはメールにて兵庫県社会福祉士会事務局へお申し込みください。締切日：2016年6月3日（金）  
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 福祉センター5階  
TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340 E-mail: [entry@hacsw.or.jp](mailto:entry@hacsw.or.jp)

# 兵庫県社会福祉士会主催（2016年6月11日） 実習教育支援者研修申込書（申込日　　）

申し込み締め切り2016年6月3日（金）ただし先着順です。

兵庫県社会福祉士会事務局宛 FAX：078-265-1340

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
会員・非会員	会員（所属県士会：　　No.　　） ・ 非会員
ご連絡先 (FAXかMAILは 必須です)	TEL　　（自宅 ・ 職場 ・ 携帯） FAX E-Mail
職場名	
事業種別 (いずれかを○で囲む)	高齢 ・ 障害（身障・知障・精神）・ 児童/家族 ・ 医療 ・ 地域社会/多文化 ・ 生活困窮/生活保護 ・ 教育機関
名簿情報	当日は参加者名簿（お名前・職場種別・職場名）を配布予定です。あなたの情報を名簿に掲載してもいいですか？ 1つだけ○をつけてください。 ①すべてOK ・ ②職場名は× ・ ③名前だけで
懇親会	○をつけてください。(実費4000円程度) ①参加します ・ ②参加しません
備考	(受講に際して必要な配慮などについて具体的にお書きください)



## 【アクセス】

- JR 灘駅より北西に徒歩 10 分
- 阪急王子公園駅より西に徒歩 10 分
- 阪神岩屋駅より北西に徒歩 15 分
- 神戸市バス（90・92 系統）上筒井 1 丁目バス停よりすぐ

# 「2016 年度施設従事者向け虐待防止研修 (事業所編)」開催要項

1. 主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会

2. 研修目標

- ・高齢者虐待とその発生要因・背景を理解し、予防と発見、発見後の対応が行えるようになる。
- ・高齢者虐待の対応や予防の方法を学ぶことで、高齢者支援における法的な構造を理解し、対象を高齢者に限ることなく福祉サービス利用者の権利擁護を推進することができる実践力を獲得する。

3. 開催日時 2016年6月14日(火) 9:25~17:00 (受付は9:00から)

4. 場所 兵庫県福祉センター(神戸市中央区坂口通2-1-1) 203会議室  
JR「灘」、阪神「岩屋」、阪急「王子公園」各駅より徒歩10分、  
市バス上筒井1丁目バス停すぐ(阪急三宮駅前から市バス「石屋川車庫」乗車)  
※受講者向けの駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

5. 受講対象 養介護施設で虐待対応を担当するもの及び養介護施設職員

6. 定員 60人(先着順)

7. 受講料 (テキスト代含む) 兵庫県社会福祉士会会員:5,000円 非会員:8,000円  
※欠席があっても返金できません  
※領収書が必要な場合は、受付にてお申し出ください

8. 申込方法 別紙に必要事項を記入し、FAXかメールにて兵庫県社会福祉士会事務局へお申込みください。締切日:2016年6月3日(金)  
兵庫県社会福祉士会事務局 FAX:078-265-1340  
MAIL:entry@hacsw.or.jp  
後日受講決定通知書と請求書(受講料振込み依頼書)をお送りします。  
受付にて受講決定通知書を提出ください。

9. プログラム(予定)

時間	講師	プログラム
9:25~ 9:30		オリエンテーション
1   9:30~ 11:00	兵庫県弁護士会所属 弁護士	養介護施設従事者等による高齢者虐待とは (講義)
2   11:10~ 12:40	兵庫県弁護士会所属 弁護士・本会高齢者虐待 対応委員会所属社会 福祉士	養介護施設従事者等による高齢者虐待対応 の基本的考え方(講義)
3   13:40~ 15:10		身体拘束と権利擁護(講義・演習)
4   15:20~ 16:50		養介護施設従事者等による虐待の予防に向け て(講義・演習)
16:50~ 17:00		修了式

# 2016年度 施設従事者向け虐待防止研修 (事業所編) 申込書 (申込日: )

申し込み締め切り2016年6月3日(金)ただし先着順です。

兵庫県社会福祉士会事務局宛

Mail : entry@hacsw.or.jp Fax : 078-265-1340

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
会員・非会員	会員(所属県士会: No. )・非会員
ご連絡先	TEL (自宅・職場・携帯) FAX E-Mail
職場名	
事業種別	①在宅サービス(具体的に: ) ②施設サービス(具体的に: ) ③その他(具体的に: )
虐待対応 経験	○をつけてください ①未経験 ・ ②1~2年 ・ ③3年以上
研修内容への 希望	具体的に学びたいこと・現在困っていることなど
名簿情報	当日は参加者名簿(お名前・職場種別・職場名)を配布予定です。あなたの情報を名簿に掲載してもいいですか? 1つだけ○をつけてください。 ①すべてOK ・ ②職場名は× ・ ③名前だけで
備考	(受講に際して必要な配慮などについて具体的にお書きください)

# 「2016年度 組織管理者研修」

1. 主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会
2. 研修区分 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修  
「共通専門（サービス管理・経営系科目Ⅰ）1単位 認証No.20150006」
3. 研修目標
 

<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の意思決定・経営の基本的な枠組みを理解したうえで、サービス管理の仕組み・方法を学習し、所属組織のサービス管理業務の課題を発見する。</li> <li>・組織行動論の基本理論及び、リーダーシップのあり方を学習し、上級リーダー職員として施設運営管理に参画するための思考力・分析力を習得する。</li> </ul>
--
4. 開催日 2016年7月7日（木）・8月23日（火）の2日間
5. 会場 兵庫県福祉センター 203会議室（神戸市中央区坂口通2-1-1）  
JR「灘」、阪神「岩屋」、阪急「王子公園」各駅より徒歩10分、  
市バス上筒井1丁目バス停すぐ（阪急三宮駅前から市バス「石屋川車庫」乗車）
6. 受講対象 以下の①②をどちらも満たすこととする。  
①社会福祉士であること  
②所属する組織で部下の中堅職員を指導し、組織運営管理の中心的役割を担う者
7. 定員 60人（先着順）
8. 受講料 会員（近畿ブロック内）：12,000円 会員（近畿ブロック外）16,000円  
非会員：20,000円  
※会員とは、社会福祉士会会員のことです  
※近畿ブロックとは、兵庫・大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山の各社会福祉士会  
※2日間通しの受講料のみの設定です。欠席があっても返金はありません
9. 申込方法 別紙に必要事項を記入し、FAXかメールにて兵庫県社会福祉士会事務局へお申込みください。締切日：2016年6月24日（金）  
兵庫県社会福祉士会事務局  
FAX：078-265-1340 MAIL：entry@hacsw.or.jp  
後日受講決定通知書と請求書（受講料振込み依頼書）をお送りします。  
初日は受付にて受講決定通知書を提出ください。

## 10. 内容

		プログラム	内容
1 日 目	受付：9：30から		
	1	10：00～11：30	組織理解と組織構造上の課題の整理（講義）
	2	11：40～13：10	情報共有の手法Ⅰ（演習）
	3	14：10～15：40	情報共有の手法Ⅱ（演習・事例研究）
	4	15：50～17：20	組織ルールの徹底（講義）
2 日 目	受付：9：30から		
	5	10：00～11：30	サービス管理の実際Ⅰ（講義・演習）
	6	11：40～13：10	サービス管理の実際Ⅱ（演習・事例研究）
	7	14：10～15：40	組織管理の実際（演習・事例研究）
	8	15：50～17：20	専門性向上と自己管理能力の開発（演習）

## 11. 参加者交流

2日目終了後に懇親会を開催します。



2016年度 研修委員会第2回 施設見学会

# べてるの家



「べてるの家」は、1984年に設立された北海道浦河町にある精神障害等をかかえた当事者の地域活動拠点です。そこで暮らす当事者達にとっては、生活共同体、働く場としての共同体、ケアの共同体という3つの性格を有しており、100名以上の当事者が地域で暮らしています。

いざ、  
試される大地へ

2016年9月22日(木・祝)～9月24日(土)  
(2泊3日のツアー) ※内容は都合により変更になる場合があります。予めご了承ください。

9月22日(木・祝)	9月23日(金)	9月24日(土)
7:00 神戸空港(集合)	9:00 べてるの家(見学)	9:00 終日(自由行動) ※OP企画検討中
8:00 飛行機(搭乗)		
10:00 新千歳空港(到着)		
11:00 昼食(バス移動)	12:00 昼食(べてるの家)	
15:00 アイヌ文化見学	15:00 見学終了(バス移動)	17:00 JR札幌駅(集合・JR移動)
17:00 ホテル(到着) (浦河ウエリントンホテル)	18:30 札幌市内到着(ホテル)	18:00 新千歳空港(到着・夕食)
	※夕食(自由行動)	19:30 新千歳空港(搭乗)
18:00 懇親会(べてるの家)	※OP企画検討中	21:30 神戸空港(到着・解散)

参加費：70,000円程度(延泊の希望がある場合は、ご相談ください。)

定員：40名(先着順)

申込方法：申込用紙に必要事項を記入の上、7月20日(水)までに、FAXまたはメールでお申し込みください。 FAX:078-265-1340 メール：entry@hacsw.or.jp

※参加費の支払い、集合場所等の詳細につきましては、6月以降に送付いたします「受講決定通知書」にてご確認ください。



申込先 兵庫県社会福祉士会 事務局宛

FAX:078-265-1340

2016年度研修委員会 第2回施設見学会

開催日：2016年9月22日（木・祝）～9月24日（土）

施設見学先	べてるの家
ふりがな 名前	
住所	〒 -
連絡先	自宅電話： 携帯電話： E-mailアドレス：
会員番号	
所属（職場）	
宿泊（部屋）	①シングル希望・②ツイン希望（どちらかに○をつけてください） ※シングル利用の場合は室料金が上がります。 ※ツイン利用で同室希望者があればご記入ください（ ）
備考	

\*7月20日（水）までにお申し込みください。

# ソーシャルワーカーが担う

## 災害支援活動の実際 ～あなたなら、どうする？～

大規模な災害が発生した際、被災地域での支援を行うため、各地から福祉専門職によるサポートが求められます。しかし、被災者の生活支援とは、長期的な視点が必要であるとともに、ニーズは被災者の置かれている環境や状況により異なります。本研修では、近畿ブロック各県社会福祉士会との連携をもとに、災害支援活動者向けの初任者セミナーとして、被災者支援のための法律や制度などについて学びます。

❖ 日時：2016年8月20日(土)10:20～16:50

❖ 会場：兵庫県民会館 パルテホール (神戸市中央区下山手通4-16-3)

❖ 対象：ソーシャルワーカー 定員：150人

主催：一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 災害支援プロジェクトチーム

後援(予定)：公益社団法人大阪社会福祉士会 一般社団法人京都社会福祉士会 公益社団法人滋賀県社会福祉士会  
一般社団法人奈良県社会福祉士会 一般社団法人和歌山県社会福祉士会  
一般社団法人兵庫県介護福祉士会 一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会  
一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会 兵庫県医療ソーシャルワーカー協会

### 【プログラム(予定)】

- 9:45～ 受付
- 10:15～ 開会挨拶
- 10:20～ ①災害復興学概説(講義)
- 11:30～ ②被災者支援のための災害救助法と支援の実際(講義)
- 12:30～ 休憩
- 13:30～ ③災害支援者のジレンマ、クロスロード(演習)
- 15:30～ ④被災者のための使える支援制度(演習)
- 16:40～ 閉会挨拶
- 17:15～ 懇親会(要事前申込。参加費5,000円程度)

### 【担当講師】

- ①②④弁護士 岡本 正 氏  
(銀座パートナーズ法律事務所)
- ③神戸クロスロード研究会

### 【受講費】

受講費は当日お支払いください(領収書を発行します)

1. 社会福祉士会近畿ブロック会員または兵庫県ソーシャルワーク関係5団体会員 2,000円
2. 社会福祉士会近畿ブロック外会員 3,000円
3. 社会福祉士会非会員 4,000円

※社会福祉士会近畿ブロック会員とは  
2府4県(兵庫・大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山)社会福祉士会の会員のことです

※兵庫県ソーシャルワーク関係5団体会員とは  
兵庫県社会福祉士会、兵庫県介護福祉士会、兵庫県介護支援専門員協会、兵庫県精神保健福祉士協会、

### 【申込方法】

申込用紙に記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください(先着順)

定員を超えた場合のみ、参加不可の連絡をします。

### 【申込先・問い合わせ】

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5F  
TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340 E-mail:entry@hacsw.or.jp



ソーシャルワーカーが担う災害支援活動の実際(開催日:8月20日)

# 申 込 書

氏名(ふりがな)	
住所	〒
会員	1. 社会福祉士会近畿ブロック会員・兵庫県ソーシャルワーク関係5団体会員 2. 社会福祉士会近畿ブロック外会員 3. 非会員 (○をつけてください)  社会福祉士会会員番号( ) 所属県社会福祉士会名:
連絡先	TEL: (自宅・職場・携帯) FAX: (自宅・職場) E-mail: (自宅・職場)
専門領域	1. 高齢 2. 障害(A.身体 B.知的 C.精神) 3. 児童・家庭 4. 医療 5. 地域社会・多文化 6. 生活困窮者・生活保護 7. その他( ) (該当するものに○をつけてください)
懇親会	参加します                      参加しません
備考	(受講に際して必要な配慮などについて具体的にお書きください)



**【会場アクセス】**

兵庫県民会館

神戸市中央区下山手通4-16-3

★地下鉄山手線「県庁前駅」下車すぐ

★JR神戸線「元町駅」徒歩7分

★阪神本線「元町駅」徒歩7分

★阪急神戸線「花隈駅」徒歩15分

その他詳細については、  
兵庫県民会館のHPを参照ください。

<http://www.hyogo-arts.or.jp/arts/kenminmap.htm>

2016年4月1日

# 「災害支援プロジェクトチーム」メンバー募集

兵庫県社会福祉士会では、発災時の災害支援や支援を受ける場合のソーシャルワーカーの役割を研究し、本会として体制を整えるために「災害支援プロジェクトチーム」を立ち上げます。

日本社会福祉士会では、2011年の東日本大震災以降、職能団体としての災害対応のあり方について「災害対応ガイドライン」や「災害対応マニュアル」を作り、「災害支援コーディネーター養成講座」、「災害支援活動者養成講座」を開催してきました。

上記研修の受講者を中心に、災害発生に備えた体制整備のためのキックオフ・イベントとして別紙「2016年度災害支援セミナー」を開催し、災害支援プロジェクトチームの活動を開始します。多くの方のお知恵を借りて機動力のある体制を作りたいので、皆様のご参加をお待ちしています。

## ●災害支援プロジェクトチーム（PT）メンバーの要件

（社会福祉士としての活動履歴や専門領域は問いません）

①PCメールでデータのやり取りができること

②災害支援活動や職能団体の対外的な活動に興味のある方

## ●災害支援PTメンバーへの報酬（他のPT・委員会と同様です）

①打合せなどの会合参加時の交通費支給

②研修運営スタッフとしての研修参加時交通費及び日当（半日1000円、終日2000円）支給

## 2016年災害支援PT参加申込書

兵庫県社会福祉士会事務局宛 Mail: [entry@hacsw.or.jp](mailto:entry@hacsw.or.jp) Fax: 078-265-1340

2016年5月13日（金）をめぐにお申込ください。

（ふりがな） お名前	（日本社会福祉士会のNo. : ）
ご住所	〒
交通費（片道）	最寄駅（ ）⇔兵庫県福祉センター = 円
ご連絡先 （メールでは 必須）	TEL （自宅 ・ 職場 ・ 携帯） E-Mail
職場 （種別は必須）	（職場名ならびに事業種別をお書きください）
災害支援経験	1つだけ○で囲む ①まったくない ・ ②少しある ・ ③かなりある （具体的には、 ）
質問など	

# 「2016年度 高齢者虐待対応研修」

1. 主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会  
2. 研修区分 認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修  
「分野専門（高齢分野）2単位 認証No.20150007」

※本研修は高齢分野ですが、医療分野・地域社会・多文化分野として読み替え可能です。

3. 研修目標
- ・高齢者の虐待及びその背景を理解し、その予防と発見、発見後の対応が行えるようになる。
  - ・高齢者虐待の対応や予防の方法を学ぶことで、社会保障制度にかかる法的な構造を理解し、対象を高齢者に限ることなく福祉サービス利用者の権利擁護を推進することができる実践力を獲得する。

4. 開催日と場所 受付は全日9:30からです。
- 1日目：2016年4月24日（日）兵庫県福祉センター203会議室  
2日目：2016年5月22日（日）兵庫県福祉センター203会議室  
3日目：2016年7月24日（日）兵庫県福祉センター102～103多目的ホール  
4日目：2016年8月27日（土）兵庫県福祉センター203会議室 の4日間  
※4日目のみ土曜日です。ご注意ください。

※2月にお知らせした日程より、8月開催日が変更になっておりますので、  
ご確認ください。（8月28日（日）→8月27日（土）に変更）

兵庫県福祉センター（神戸市中央区坂口通2-1-1）

JR「灘」、阪神「岩屋」、阪急「王子公園」各駅より徒歩10分、  
市バス上筒井1丁目バス停すぐ（阪急三宮駅前から市バス「石屋川車庫」乗車）  
※受講者向けの駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

5. 受講対象 以下の①②をどちらも満たすこととする。  
①社会福祉士であること  
②所属する地域や組織で福祉サービス利用者の権利擁護推進を担う者
6. 定員 60人（先着順）
7. 受講料 会員（近畿ブロック内）：24,000円 会員（近畿ブロック外）32,000円  
非会員：40,000円

※会員とは、社会福祉士会会員のことで

※近畿ブロックとは、兵庫・大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山の各社会福祉士会

※4日間通しの受講料のみの設定です。欠席があっても返金はありません

8. 申込方法 別紙に必要事項を記入し、FAXかメールにて兵庫県社会福祉士会事務局へ  
お申込みください。締切日：2016年4月15日（金）

兵庫県社会福祉士会事務局 FAX：078-265-1340

MAIL：[entry@hacsw.or.jp](mailto:entry@hacsw.or.jp)

後日受講決定通知書と請求書（受講料振込み依頼書）をお送りします。

初日は受付にて受講決定通知書を提出ください。

## 9. プログラム（予定）

	時間	講師	プログラム	
1日目	1	10:00～ 11:30	兵庫県弁護士会所属弁護士 高齢者虐待の現状と課題（講義）	
	2	11:40～ 13:10	本会高齢者虐待対応委員会所属社会福祉士	養護者による虐待サインⅠ（講義）
	3	14:10～ 15:40		養護者による虐待サインⅡ（演習）
	4	15:50～ 17:20		養護者による虐待サインⅢ（講義・演習）
2日目	5	10:00～ 11:30	兵庫県弁護士会所属弁護士 養介護施設従事者等による高齢者虐待事案への対応Ⅰ（講義）	
	6	11:40～ 13:10	本会高齢者虐待対応委員会所属社会福祉士	養介護施設従事者等による高齢者虐待事案への対応Ⅱ（演習）
	7	14:10～ 15:40		養介護施設従事者等による高齢者虐待事案への対応Ⅲ（演習）
	8	15:50～ 17:20		養介護施設従事者等による高齢者虐待事案への対応（講義・演習）
3日目	9	10:00～ 11:30	本会高齢者虐待対応委員会所属社会福祉士	養護者による虐待における支援機関の役割（講義）
	10	11:40～ 13:10		虐待対応ツールの理解Ⅰ（講義・演習）
	11	14:10～ 15:40		虐待対応ツールの理解Ⅱ（演習）
	12	15:50～ 17:20		養介護施設従事者等による高齢者虐待対応の留意点（講義・演習）
4日目	13	10:00～ 11:30	兵庫県弁護士会所属弁護士・本会高齢者虐待対応委員会所属社会福祉士	事例を通して実践力を高める－養護者による虐待Ⅰ（演習）
	14	11:40～ 13:10		事例を通して実践力を高める－養護者による虐待Ⅱ（講義・演習）
	15	14:10～ 15:40		事例を通して実践力を高める－養介護施設従事者による虐待Ⅰ（演習）
	16	15:50～ 17:20		事例を通して実践力を高める－養介護施設従事者による虐待Ⅱ（講義・演習）
		17:20～		修了式
		17:45～		（希望者のみ）懇親会

## 10. 参加者交流

4日目終了後に懇親会を開催します。

当日近隣の会場にご案内します（実費4000円程度をご負担ください）。

# 2016年度認証研修 分野専門（2単位） 高齢者虐待対応研修申込書（申込日： ）

申し込み締め切り2016年4月15日（金）ただし先着順です。

兵庫県社会福祉士会事務局宛

Mail : entry@hacsw.or.jp Fax : 078-265-1340

(ふりがな) お名前	
ご住所	〒
会員・非会員	会員（所属県士会： No. ）・ 非会員
ご連絡先	TEL (自宅 ・ 職場 ・ 携帯) FAX E-Mail
職場名	
事業種別	①在宅サービス（具体的に： ） ②施設サービス（具体的に： ） ③その他（具体的に： ）
虐待対応 経験	○をつけてください ①未経験 ・ ②1～2年 ・ ③3年以上
受講動機	(あてはまるものに○をつけてください) ①認証研修だから ・ ②虐待対応について深く学びたいから
研修内容への 希望	具体的に学びたいこと・現在困っていることなど
名簿情報	当日は参加者名簿（お名前・職場種別・職場名）を配布予定です。あなたの情報を名簿に掲載してもいいですか？ 1つだけ○をつけてください。 ①すべてOK ・ ②職場名は× ・ ③名前だけで
懇親会 (8月27日)	○をつけてください。(実費4000円程度) ①参加します ・ ②参加しません
備考	(受講に際して必要な配慮などについて具体的にお書きください)

# 2016年度 社会福祉士実習指導者講習会 開催要項（速報）

## 1. 開催の趣旨

「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正により、社会福祉士養成カリキュラムが改訂され、相談援助実習を行う実習指導者の要件として、実習指導者を養成するための講習会の受講が義務付けられ2012年4月から完全施行されました。下記の日程で、兵庫県での2016年度社会福祉士実習指導者講習会を開催しますのでご案内します。本講習会は実習指導者の要件を満たす講習会として厚生労働省に届出られたものです。

## 2. 主催 一般社団法人兵庫県社会福祉士会

## 3. 開催日、会場、定員、問い合わせ先

	開催地・会場	開催日	定員	受付期間	申込・問い合わせ先
兵 庫	兵庫県福祉センター 神戸市中央区坂口通 2-1-1 (JR 灘・阪急王子公園・ 阪神岩屋駅下車徒歩10分)	2016年 11月26日 (土)～27 日(日)	100名	7月1日 (金) ～8月31 日(水)	一般社団法人兵庫県社会福祉士会 〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター5階 TEL:078-265-1330 FAX:078-265-1340

## 4. 受講対象者・資格及び優先順位

社会福祉士であること。（資格要件が緩和されています）

※ 個人でも申込みいただけます。但し、申し込み多数の場合は、申込書に所属長印もしくは公印があるものを優先いたします。

## 5. 受講費（予定） 会員 10,000円 非会員 15,000円（テキスト代は含みません）

※社会福祉士会へ入会手続き中の方は、会員扱いとなります。入会については各社会福祉士会事務局にお問い合わせ下さい。

## 6. 研修テキストと事前課題（予定）

『社会福祉士実習指導テキスト 第2版』（中央法規出版、2014年 定価税別 2400円）を研修テキストとして位置づけており、『社会福祉士実習指導テキスト』に基づいた事前課題を提出いただきます。テキスト購入方法と事前課題については受講決定時に案内します。なお、事前課題の提出がない方は受講いただけませんのでご注意ください。

## 7. 基本プログラム（予定）

### ◆ 1 日目

9:45～10:00	オリエンテーション
10:00～12:00	実習指導概論（講義2時間）
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～15:00	実習マネジメント論（講義2時間）
15:00～15:15	休憩
15:15～18:15	実習プログラミング論（講義3時間）
18:30～20:30	懇親会

### ◆ 2 日目

9:00～11:00	実習スーパービジョン論 （講義2時間）
11:00～17:00	実習スーパービジョン論 （演習5時間） ※途中に昼食・休憩（1時間）
17:15～17:30	閉講式／修了証書授与

## 8. 申込方法

○受講を希望する会場の各申し込み先に、申込受付期間内に、「2016 年度社会福祉士実習指導者講習会 受講申込書」に必要事項を記載の上、FAX又は郵便でお申し込みください（郵送の場合は受講申込書のコピーをお手元にお控えください）。受付期間終了をもって締め切らせていただきます。

※ **必ず「2016 年度社会福祉士実習指導者講習会 受講申込書」をご使用ください。記入事項に間違いや記入漏れがないことをご確認ください。**（受講申込書の〔お名前・生年月日・ご住所〕は修了証に記載される事項で、厚生労働省より指定されています）

※ **受講申込書は、記入間違いや記入漏れのないよう、楷書ではっきりとご記入ください。**

※ **受講申込書の記載・添付書類に不備があった場合は、お申込みを受け付けることができません。**

○お申し込みをいただきますと、受講資格を確認後あらためて事務局から、受講費用振込方法、会場等、詳細についてご案内します。

○受講費は事前振込になります。（振込手数料は各自ご負担ください。）

○受講資格（社会福祉士）を確認しますので**非会員の方は必ず「社会福祉士登録証」のコピーを添付してください。添付漏れのあった場合、お申込みを受け付けできません。**

○**受講の決定は先着順ではありません。**申込受付期間終了後、受講者を決定します。定員以上の申し込みがあった場合、原則会員を優先し、実習指導との関わり、社会福祉士資格取得年等を考慮し受講者を選考します。実習指導経験のある方、今後実習指導をする予定の方は受講申込書の7（実習指導との関わり）および16の所属長の証明欄をご記入の上お申し込みください。

## 9. 修了の認定

①本研修は実習指導者となるための認定研修となります。全科目の受講が修了認定の条件となります。1科目でも遅刻・早退がある場合は修了とはなりませんので十分ご注意ください。

②研修修了者には、修了証を発行します。実習指導者になるためには当修了証が必要となります。

## 10. 備考

車椅子を利用するなど受講にあたって配慮が必要な方は、申込書の該当欄にその旨を記載の上、お申込ください。

2016 年度 社会福祉士実習指導者講習会 受講申込書（兵庫県社会福祉士会）

(ふりがな)		(ふりがな )	
1. 申込者氏名	(性別)	氏名	( 男 ・ 女 )
2. 生年月日	昭和・平成	年 (西暦	年) 月 日生
3. 自宅住所	〒	—	都・道・府・県
4. 勤務先・職種	法人名		
	施設・事業所名		
	住所 (〒 — )		
	施設・事業所の種別 <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> 低所得者 <input type="checkbox"/> その他		
	職場種類 <input type="checkbox"/> 施設福祉 <input type="checkbox"/> 在宅福祉 <input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他		
5. 連絡先(受講決定通知先)		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェック)	
電話・FAX・e-mail		電話	F A X
(昼間連絡がとれるところをお願いします)		e-mail	
6. 相談援助経験年数	社会福祉士資格取得後 年		
7. 社会福祉士の実習指導との関わり	<input type="checkbox"/> 今後実習指導する予定 <input type="checkbox"/> 未定		
8. 会員／非会員(○で囲んでください)	会員 ・ 非会員 ・ 入会申込中		
9. 会員番号・所属府県士会(会員の場合)	会員番号:	所属府県社会福祉士会:	
10. 社会福祉士登録番号 ※ 非会員の方は社会福祉士登録証のコピーも添付して下さい。	取得年	年	登録番号 第 号
11. 受講者多数のために受講できない場合のキャンセル待ちについて	する ・ しない		
12. 名簿掲載の可否	可 ・ 不可		
※ 当研修では、ネットワークづくりに役立てるため「氏名」「勤務先」「都道府県名」を記載した「受講者名簿」を作成し、研修受講者に配布する予定です。名簿への掲載を希望されない方は、チェックしてください。(不可の場合でも氏名は掲載されます) <input type="checkbox"/> 掲載不可			
13. 実習指導者講習会を修了した実習指導者の在籍する施設・機関の名称と住所を社会福祉士養成校へ公表します。公表不可の場合は口にチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 公表不可			
14. 懇親会の参加希望	費用 4000 円程度	参加 ・ 不参加	
15. 受講にあたって配慮が必要な方は、配慮が必要な内容を具体的にご記入ください。	(要約筆記・車いす対応など)		
16. 所属長もしくは公印 ※ 申込者多数の場合は印のあるものを優先させて頂きます	上記の者は(実習指導経験があり今後も実習指導する予定・実習指導未経験で今後実習指導する予定)であることを証明します。 施設名 所属長(役職名)氏名 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公印</span>		

※ お預かりした個人情報は、本講習会運営目的の他、都道府県社会福祉士会と日本社会福祉士会において共有し、社会福祉士実習指導者講習会の運営と実習指導者のためのフォローアップ事業等の案内に活用しますのであらかじめご了承ください。

ぱあとなあ兵庫名簿登録者の皆様へ

## 2016年度 ぱあとなあ兵庫全体会のお知らせ

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会  
ぱあとなあ兵庫

ぱあとなあ兵庫名簿登録者の皆様には、ぱあとなあ兵庫の活動にご理解・ご協力下さりありがとうございます。

さて、2016年度のぱあとなあ兵庫全体会の日程が決まりましたのでお知らせします。予定に入れておいていただくようお願いします。

(内容については運営委員会で下記のようなプログラムを検討しています。決まり次第ぱあとなあメールと4月中旬にご案内を発送する予定です)

### 記

- 1 日時 2016年5月28日(土) 13:30～16:30
- 2 会場 兵庫県福祉センター1階 多目的ホール(神戸市中央区坂口通2-1-1)  
「阪急王子公園駅より徒歩約10分・三宮より神戸市バス92系統 上筒井1丁目バス停すぐ」
- 3 参加資格 ぱあとなあ兵庫名簿登録者・2016年度成年後見人養成研修修了予定者(再履修者含む)
- 4 主な内容(検討中)
  - ・運営委員長・運営委員の紹介
  - ・候補者選考基準の確認
  - ・講演:神戸家庭裁判所における、後見監督の課題と展望  
～社会福祉士後見人に期待するもの～  
講師:神戸家庭裁判所書記官又は調査官
  - ・交流会  
※17:30～ 懇親会を企画中です。
- 5 問合せ先 兵庫県社会福祉士会 ぱあとなあ兵庫事務局  
TEL 078-222-8107 FAX 078-265-1340 E-mail partner-jimu@hacsw.or.jp  
※ぱあとなあメーリングに登録されておられず、詳細・内容を知りたい方も上記にお問い合わせください。

以上

# Social Workers Day

2016年7月30日(土)  
神戸市立こうべまちづくり会館  
元町商店街

ソーシャルワーカーデーとは、ソーシャルワーカーについて広く一般に広報・啓発を行い、関心と理解を得るためのイベントを開催する日です。今年も楽しいイベントを開催しますので、ふるってご参加ください。

去年は・・・

兵庫県社会福祉士会、兵庫県介護福祉士会、兵庫県介護支援専門員協会、兵庫県精神保健福祉士協会、兵庫県医療ソーシャルワーカー協会の5団体が協力して開催しました。

パペット落語、知って得する市民講座、児童合唱、音楽療法、福祉なんでも相談、東北被災地支援商品の販売、福祉体験コーナー、スーパーボールすくい など盛りだくさんでした。

今年も5団体共催で企画・運営し盛り上げます！



また、ソーシャルワーカーデー開催にお手伝いいただけるサポーターも募集しています。関心のある方は申込書に記入の上、FAX またはメールでお申し込みください。サポーターには出張旅費規程による交通費を支給します。

## 【申込先】

兵庫県社会福祉士会 事務局

FAX 078-265-1340 E-mail entry@hacsw.or.jp



兵庫県社会福祉士会

兵庫県社会福祉士会

検索



-ソーシャルワーカーデー2016 in ひょうご サポーター 申込書-

氏 名 (ふりがな)		男性 ・ 女性
住 所 連絡先等	〒  電話番号 携帯電話番号 E-mail	
会員番号		
所属委員会		
事前サポーター会議への出席	日程が合えば出席する ・ 出席検討する ・ 出席できない	
参加日	前日のみ参加 (準備) ・ 当日のみ参加 ・ 両日参加	
参加時間帯	終日 ・ 午前 ・ 午後 ・ 調整中	
懇親会への参加 (17:00 頃から)	参加する ・ 検討する ・ 参加できない	
どんな役割や内容をしたいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会</li> <li>・ 写真撮影 (記録用)</li> <li>・ 情報発信 (Facebook 等)</li> <li>・ 相談コーナー</li> <li>・ 案内、誘導</li> <li>・ チラシ配布</li> <li>・ ゆるキャラ</li> <li>・ その他</li> </ul>	

会場までの交通費 (片道)

ご自宅 ⇒ 神戸市立こうべまちづくり会館 (元町三丁目)

ご自宅最寄り駅名 : \_\_\_\_\_ ⇒ 会場最寄り駅名 : \_\_\_\_\_

金 額 : \_\_\_\_\_

## 2016年 『高齢者虐待対応研修』

福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者とされる『認定社会福祉士』を取得するための、認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修(高齢者分野2単位 認証No. 20150007)として『2016年度 高齢者虐待対応研修』を実施します。

本研修の目標は、高齢者の虐待及びその背景を理解し、その予防と発見、発見後の対応が行えるようになること及び、高齢者虐待の対応や予防の方法を学ぶことで、社会保障制度にかかる法的な構造を理解し、対象を高齢者に限ることなく福祉サービス利用者の権利擁護を推進することができる実践力を獲得することです。研修プログラムは虐待防止法、養護者による虐待、施設従事者による虐待、虐待発生メカニズム、発生時の対応、虐待防止、養護者支援など高齢者虐待全般になります。

研修日程は2016年4月24日・5月22日・7月24日・8月27日の全4日間、いずれも9:30～17:00のプログラムで全日程を受講することが必要です。

開催日	会場名
2016年4月24日(日)	兵庫県福祉センター
2016年5月22日(日)	兵庫県福祉センター
2016年7月24日(日)	兵庫県福祉センター
2016年8月27日(土)	兵庫県福祉センター

高齢者虐待対応委員会が、これまでの高齢者虐待対応専門職チーム派遣や、様々な虐待に関する研修などの実施により培ってきた、虐待対応における専門知識を、認証研修として実施することで、社会福祉士のみなさまに還元ができれば幸いです。是非、本研修を受講し『認定社会福祉士』を目指して下さい。

社会福祉士 伊東 圭一

## 高齢者虐待対応向上研修

今回研修に参加させて頂いた理由として、施設の生活相談員は高齢者虐待について、在宅と施設内での対応の双方を理解し、より知識を深める必要があると感じたからです。午前中は高齢者虐待防止法を中心とした法的理解、虐待発生メカニズム、早期発見と対応方法を学び、基本的対応だけでなく実践をもとにした活きた知識を教頂きました。午後は事例をもとにグループワークでしたが、事例を通して虐待には様々な要因があり支援内容が多岐にわたる場合においても、虐待対応の基本的な視点を忘れず早期発見・対応が重要であると感じました。今回の学びを利用者様への支援の中で役立てていきたいと思っております。



特別養護老人ホーム光明苑 生活相談員 藤田雅史

(たくさんの方に参加いただきました)

## 高齢者虐待対応現任者標準研修

昨年11/13・14, 12/12の3日間、兵庫県福祉センターで2015年度 高齢者虐待対応現任者標準研修～現場の対応力強化のために～が行われ、21名の方が修了されました。この研修は、高齢者虐待防止法に基づく虐待対応機関・協力機関の現任者が虐待対応にあたる上での専門的視点や技術を習得し、実践力の向上を図ることを目的としています。研修は講義とグループワークで構成されているので、講義で得た知識をグループワークで整理でき、虐待対応の理解が深まります。受講者の方からも「自らの気づきを得られた」などの感想を頂きました。標準研修は2016年度も開催予定ですので、虐待対応にあたられている方で未受講の方は是非ご受講下さい。



馬場 佳代

## お勧め図書！！

『万寿子さんの庭』



黒野伸一著

20歳OLの京子と、78歳で一人暮らしの万寿子。祖母と孫ほど歳の離れた二人が、いつしか心を通わせ、年齢差を超えた深い友情で繋がっていく。認知症になった万寿子と一人の友人として関わり続ける京子、二人の心の動きを丁寧に描いている。万寿子の心の揺れと京子の思い。専門職ではなく人として、静かに流れてゆく二人の気持ちを感じてみてはいかがでしょうか。

村上 弘幸

### 高齢者虐待対応委員会の動き (2015年12月 ～ 2016年2月)

日付	活動内容
<b>【講師派遣】</b>	
12月8日	加東市地域ケアセミナー権利擁護研修
12月11日	宍粟市介護保険サービス従事者研修会
12月11日	真愛ホーム養介護従事者虐待対応研修
12月14日	芦屋市高齢者虐待対応研修
12月17日	神戸市高齢者虐待対応研修
2月29日	神戸市高齢者虐待防止講演会
<b>【専門職チーム派遣】</b>	
12月3日	丹波市派遣
12月16日	豊岡市派遣
12月16日	西脇市派遣
1月4日	豊岡市派遣
1月29日	神戸市ワーキング
2月22日	丹波市派遣
<b>【弁護士会とのワーキング】</b>	
7月14日	県委託事業打ち合わせ
8月18日	県委託事業打ち合わせ
<b>【委員会内研修・委員受講外部研修・実施研修】</b>	
12月12日	高齢者虐待対応現任者標準研修
12/3・1/20	高齢者虐待対応力向上研修
1月9日	委員会・運営委員会
<b>【相談員派遣】</b>	
毎月	兵庫県弁護士会主催
第1・5木曜日	「高齢者・障害者のための弁護士電話法律相談」

## 兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画(案)に対する会員からの意見(2名)

番号	意見概要	意見に対する考え方
1	<p>計画全体における数値目標が会員数のみである。すべての事業は会員数の増加につながるという趣旨は理解できる。ならば、この会員数が達成できなかった場合はどうするのか。会員数は、本会の基礎的収支と社会的意義に直結する内容である。その辺を示していただきたい。</p>	<p>2016年度から毎年100名の会員数の増を目指している。この数値を達成するためには、年間の入会者を150名以上、退会者を50名未満を達成する必要がある。本計画を元に、入会のメリットを高める具体的な事業や取り組みを進めるとともに、会員サービス向上を図る必要があると考えている。5年後の2000名以上の会員数を目標としているが、会員の入退会状況を毎年度確認して、時代背景や会員のニーズを分析し、その要因を改めて検証して、効果的な新規事業を重点的に取り組んでいく。</p>
2	<p>5年たってみないと結果がわからないというのを避けた方がいいと思う。数値目標や事業内容の中間での見直し時期を明示してはどうか。</p>	<p>次年度に「組織力向上戦略会議(仮称)」を設置し、本計画について、具体的な事業の企画実施を行うとともに、本計画の進捗状況や結果を評価し、総会時において報告することが必要であると考えている。また、数値目標や事業内容については、その進捗状況を踏まえ、中間時点での計画の見直しについては、理事会において検討していく。</p>
3	<p>新しい取り組みを行うことについては基本的に賛成する。しかし、現状の事業や委員会活動を整理活用したり、物品等を見直したり、既存の物を活用できないかを見直した上で、新事業に取り組まれるのかということが見えてこない。限られた予算の中で工夫をしているという姿勢が大切かと思うので、明示されてはいいか。</p>	<p>当然のご意見と思う。新規事業の実施にあたっては、既存の事業や委員会活動について、再点検するとともに、既存の物品や資源を有効に活用できるように検討を続けている。また、組織の見直しについては、理事会と協議しながら検討する。</p>
4	<p>公益社団法人への移行は、会員の総合的な検討で行わなければならない。かつ、公益社団法人とは何で、メリット、デメリットは何かなど、様々な情報提供を会員にしたうえで総会議決が必要。「9. 事務局体制の強化」には“公益社団法人にふさわしい体制の構築”という表現があり、「8. 組織力の強化」には、“公益社団法人の検討”という表現がある。これでは、“移行することを前提とした検討”であり、建設的な検討議論にならないのではないか。「9」の部分の表現は削除したほうがよいと思う。</p>	<p>公益社団法人への移行は、本会が法人化を検討してきた過程の中で、これまで理事会で議論してきた経過がある。その結果、2009年4月には、一般社団法人化を果たしたが、公益社団法人への移行は、引き続き、検討すべき課題であると認識している。公益社団法人化することにより、法人の公益性は高くなり、社会的な信用は高まることにより、公益な事業を拡大できるメリットがある一方で、法人としての責任は重くなり、事務局体制や事業内容を整えていく必要がある。公益法人化はすぐに達成できるものではなく、現時点では、会員への説明や理事会での議論も不十分であることから、「9」の部分の表現は「一般社団法人」と修正する。</p>
5	<p>5か年計画というならば、大きな戦略が必要ではないか。「未来に向かって～夢を描く～」というのでは、5年かけて本会がどのような使命を果たす団体になるのか、絵空事ではなく具体的に言葉として記すことが必要ではないか。</p>	<p>本計画における本会の使命は、「利用者の自己実現と地域の社会福祉を推進する専門職団体(社会福祉士会)」と位置付けた。そのために、3本柱として、①資質向上、②地域貢献(公益性の増進)、③会員数2000名を掲げた。今後、5年間の計画の中で取り組むべき事業は表形式にて示しているが、すべてを網羅できたものではない。今後、来年度から設置する「組織力向上戦略会議(仮称)」において、3本柱に重点におき、具体的な事業を企画し、実施可能なものから取り組んでいく。</p>
6	<p>現状の分析が十分なされていないのではないか。現状の分析をこれまでどのようになされてきたのか。意見集約として、5か年発展計画に際して、会員アンケートや、委員会、ワークショップで意見を聞いたというが、全体の1～2割の数字で、なぜ全体の意見を集約したかのように記載するのか、一部のみしか、聞いていない現状で策定せざるを得ないならそのことを記載し、今後どう意見を集約していくかを記載するべき。</p>	<p>これまで、5カ年発展計画策定会議を設置し、①会員アンケート(7～8月)、②地区ワークショップ(9～11月、3地区)、③委員会アンケート(9～11月)を実施し、現状把握に努めてきた。また、これまで策定会議は9回(6～2月)開催し、議論を深めてきた。その上で、理事・委員長会(11～2月)に計画案を諮るとともに、会員にはパブリックコメント(1～2月)にて意見募集を行ったものである。残念ながら会員アンケートの回答数は94名、地区ワークショップには43名の参加にとどまったが、研修受講者等に呼びかけるなど、より多くの会員から回答いただけるように努力し、可能な限り、会員の意見を尊重して策定したものである。しかし、さらに会員意見を求める工夫の必要性は感じており、今後設置を予定している「組織力向上戦略会議(仮称)」において、アンケート調査に加え、ホームページの活用や総会、研修や委員会活動等において、幅広く会員の意見を聴取するように努めたい。</p>

兵庫県社会福祉士会2020・5カ年発展計画(案)に対する会員からの意見(2名)

番号	意見概要	意見に対する考え方
7	<p>ソーシャルワーカーの専門性を高め、社会の課題に取り組めるように支援するならば、“魅力ある会づくり”の項目のソーシャルアクション機能や提言を行うための調査研究活動を行うなど、もっと踏み込んで年次計画にも記載すべき。</p>	<p>ソーシャルアクションのための提言機能は重要であると考えている。現在、日本社会福祉士会において、企画室が組織化され、様々な課題について、提言や意見表明を実施している。本会においては、他団体とともに県等への予算要望や提言をおこなっているが、さらに日本社会福祉士会と協働しながら、倫理綱領に照らして、提言やソーシャルアクションを積極的に行うための仕組みについて、2016年度に検討を行い、2017年度に向けて具体的な組織を検討したい。その旨を本計画に反映した。</p>
8	<p>「退会防止」というマイナスイメージではなく、各会員が参加協力できる場を開発提供するという方向性が必要ではないか。</p>	<p>入会促進に対して、退会防止という言葉でわかりやすく説明している。委員会活動やブロック活動、研修や講師等として会員が参加協力できる場をつくることにより、会員が会に入会を継続するメリットが感じられるような取組みを推進していくことを計画に盛り込んでいます。</p>
9	<p>現状では人材育成の仕組みが機能しておらず、事業実施のために動ける会員への過重な負担があり、結果会員の参画・参加の機会が少ない。受け身的な参加形態のままである。育成のためのプログラムや構想を立てて、そこに予算をかけ、5年後を担う人を作る方が今回の計画の趣旨に合うのではないか。</p>	<p>本計画において、人材育成の仕組みとして①スーパーバイザーの養成、②基礎研修講師の養成、③専門講師の人材バンクの設置、④支援者のアドバイザーの養成の4点をあげている。それぞれの人材養成について、具体的に検討し、仕組みづくりを行っていく。(基礎研修講師の養成について追記する)</p>
10	<p>会の財政基盤を強化する観点でみると、一定の研修事業を標準化させていく役割を担うべきものであり、認証研修、標準研修等を実施し、収益を上げていく、(収益を次の事業に活用するというNPOの考え方)方針を明確にしていきたい。</p>	<p>会の財源は、①会費収入、②事業収入、③委託収入の3つに大別される。会の財源基盤を強化するために、それぞれの部門ごとに強化していく必要がある。特に、本会のミッションに見合う事業を行い、収益を得つつ、その財源は会のミッションに再投下されていくのが原則である。本会のミッションとして、専門性の高い研修を企画実施し、社会福祉士としての資質向上を支援していくことは重要であり、認証研修を初め、会員のニーズに沿った研修を企画していく必要がある。このため、2016年度は研修ニーズ調査を実施し、研修ニーズを把握した上で、具体的な研修を企画していくこととしている。</p>
11	<p>この計画は5年間の「戦略」であるので、委員会の議論を経て、会長がこれと決めて理事会や総会を通じて、会員に示せばいい。具体的な戦術は会員に検討願えばよい。いかに検討する仕組みを作るかは今後の話し合いや会員から募ればよい。やる人がいなければ、まずその現状を受け止め、何年かかりで、人を掘り起こすくらいの覚悟がいるのではないか。形にとらわれた八方美人的な計画であれば、形骸化し、作ることが目的となり、実効性に乏しいものになる。</p>	<p>本計画は、初めて本会が取り組んだ発展計画である。これまで中長期的な視点を示すことなく、事業計画や予算をたててきたが、今後は、本計画を踏まえながら、各年度ごとに評価し、検証しながら目標を達成していく。具体的な戦術や方法については、委員会や地区ブロック、理事会において検討していくとともに、「組織力向上戦略会議(仮称)」を設置し、継続的、組織的に検討し、本会が一丸となって取組を進め、実効性を担保していく。</p>
12	<p>各委員会あてに委員会ビジョンなるものを作成、提出の依頼があり、委員会でもまとめ提出しましたが、その後どのように取り扱われるのでしょうか。今回の資料には記載がないのですが、企画そのものがなくなったのでしょうか。それとも、その都度、単年度の新規事業に反映すると決まったのでしょうか。</p>	<p>各委員会アンケートについては、5カ年計画に含める内容のものは、反映している。一方で、計画に対する委員会の意見や具体的な計画レベルでないものは反映していない。「8. 組織力の強化」の項目において、委員会活動の充実を掲げており、この中で、それぞれの委員会が5年後の活動を見据えて、今後あるべき活動をそれぞれ取り組んでいく。具体的な活動は予算の確保が必要となるものは、優先度をつけて単年度ごとに新規事業として反映させていく。</p>

## 兵庫県社会福祉士会・組織力向上戦略会議委員の応募登録について

1993年7月に日本社会福祉士会の兵庫県支部として発足した本会は、当初100名に満たない小さな職能団体として活動を始めました。

その後、2009年4月に一般社団法人兵庫県社会福祉士会として法人格を取得するとともに、会員数も1,400名を超える大きな組織へと発展し、今日では16の委員会と福祉相談センター「ここねっと兵庫」を組織化し、行政等からの各種事業を受託し、公益性の高い事業を展開しています。また、「まちかど相談会」や各種研修、セミナー等を通じて地区ブロック活動を展開し、県民の福祉向上に寄与し、県民や行政等から本会への期待は年々高まってきています。

しかし、社会福祉士資格取得者の組織率は年々低下、現在では16%台へと低迷しています。このような状況の中、組織力の向上や本会の発展を中・長期的観点から取り組む必要があるため、2015年度「兵庫県社会福祉士会2020・5ヵ年発展計画」の策定に取り組みました。

今後は、本計画を具体的に企画検討及び推進していくため、新たに「組織力向上戦略会議」を設置します。つきましては、本会議にご協力いただける会員（委員）を募集します。下記の応募要領をお読みいただき、多数の方にご応募いただきますようお願いいたします。

### 記

#### 応募要領

1. 応募資格      本会の会員であれば、誰でも応募できます。
  
2. 応募方法      「応募票」に必要事項を記入し、**5月9日（月）までに**、  
兵庫県社会福祉士会事務局までFAX・メールまたは郵送にてご応募ください。
  
3. 募集人数      会員委員5名程度（会員委員とは別に理事委員も参加します）
  
4. 選考方法      5月14日（土）に行う理事会において書類選考し、決定します。  
選考結果は、郵便にてご通知させていただきます。
  
5. 活動期間      2016年6月～2018年5月（2年間）
  
6. 交通費等      出張旅費規程による交通費等を支給します。
  
7. 応募先          兵庫県社会福祉士会事務局  
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1  
福祉センター5階  
TEL078-265-1330 FAX078-265-1340  
E-Mail : entry@hacsw.or.jp



NO. ( 月 日登録) ※事務局記入欄

# 兵庫県社会福祉士会

## 組織力向上戦略会議委員・応募票

私は、組織力向上戦略会議委員の応募要領に同意し、応募登録を希望します。

(ふりがな) お名前		
住所	〒	
会員 NO.		生年月日 (西暦) 年 月 日
連絡先 (自宅又は 職場)	TEL FAX Email	(自宅・職場・携帯) (自宅・職場) (自宅・職場)
ご所属 (勤務先)		
これまでの 職 歴		
① 応募動機 について		
② 組織力向 上 につい て、あなた のご意見な ど		
③ その他 特記事項		

応募されるは、本票を本会事務局までFAXまたはメールでお申し込みください。

FAX : 078-265-1340 メール : entry@hacsw.or.jp

# 兵庫県社会福祉士会の ホームページが リニューアル オープン！！



2016年4月1日、本会のホームページが新しくなりました！

従前通り、研修案内や活動報告、求人情報などを掲載するほか、Facebookを活用した最新情報を掲載していく予定です。

URL（ホームページのアドレス）は今までのものと同じです。是非、アクセスして「お気に入り」登録をしておいてください。携帯電話・スマートフォンからもアクセスできます。

※このとり通信-春号-で掲載しておりますホームページの画像は、2016年2月現在のため、4月時点での表示と異なります。予め、ご了承ください。

QRコードもありますので、こちらから読み取ってアクセスすると簡単です。



兵庫県社会福祉士会

